

〈 乳児一般健康診査の部 〉

乳児一般健康診査は、母子保健法第13条において市町村は健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならないとされている。

乳児一般健康診査は、乳幼児の健康診査及び保健指導要領によると、発育栄養状態、精神、運動機能の発達、疾病又は異常の早期発見と予防に留意すること。さらに保護者が心配事、不安、訴え等をよく話せるように心掛ける。又、養育態度、乳児の睡眠の乱れ、摂食の問題、なだめにくい啼泣、恐れ、不安等の精神的に不安定な状態、児童虐待、家庭環境等にも配慮しながら健康診査を行うとされている。

市町村においては、2回以上の健康診査、乳児前期・乳児後期を実施するとともに、受診勧奨に努めるものである。



I 一般健診の部

1 実施状況

沖縄県内40市町村で、平成30年4月1日から平成31年3月31日までに、延べ28,561人が乳児一般健康診査を受診した。

乳児一般健康診査の実施体制は、町村が土曜日（午後）の半日で年に4～8回の実施、市は主に日曜日に対象を乳児前期・後期に分け、月に1～3回の実施となっている。

離島町村の健康診査は、乳幼児健診として年2回の実施もあり、健診日の設定により受診月齢が1か月～2か月児や12か月以降になることもある。

報告書の乳児対象者数とは、市町村から乳児期に2回の健診通知がされた合計数である。市町村は未受診児対策として、再通知等を行ない受診勧奨しているところも多い。

受診月齢12か月以上及び県外からの里帰り等による受診児370人は、対象から除き28,191人について集計した。

対象外児内訳

圏域	市町村別内訳					計
北部	国頭村(3)	大宜味村(3)	東村(1)	今帰仁村(2)	本部町(6)	370人
	名護市(51)	伊江村(6)	伊是名村(1)			
中部	宜野座村(22)	金武町(15)	うるま市(19)	沖縄市(41)	読谷村(10)	
	嘉手納町(23)	北谷町(22)	北中城村(6)	宜野湾市(18)		
那覇 南部	那覇市(21)	西原町(3)	浦添市(21)	豊見城市(39)	糸満市(7)	
	八重瀬町(6)	与那原町(12)	久米島町(1)	粟国村(2)		
宮古 八重山	宮古島市(1)	石垣市(1)	竹富町(7)			

注) 南城市は受託外

(参照) 統計資料 No. 3 参考資料 No. 2

注) () は対象外児の人数

2 受診状況

乳児一般健康診査受診状況 (回数・月齢別)

単位: 人

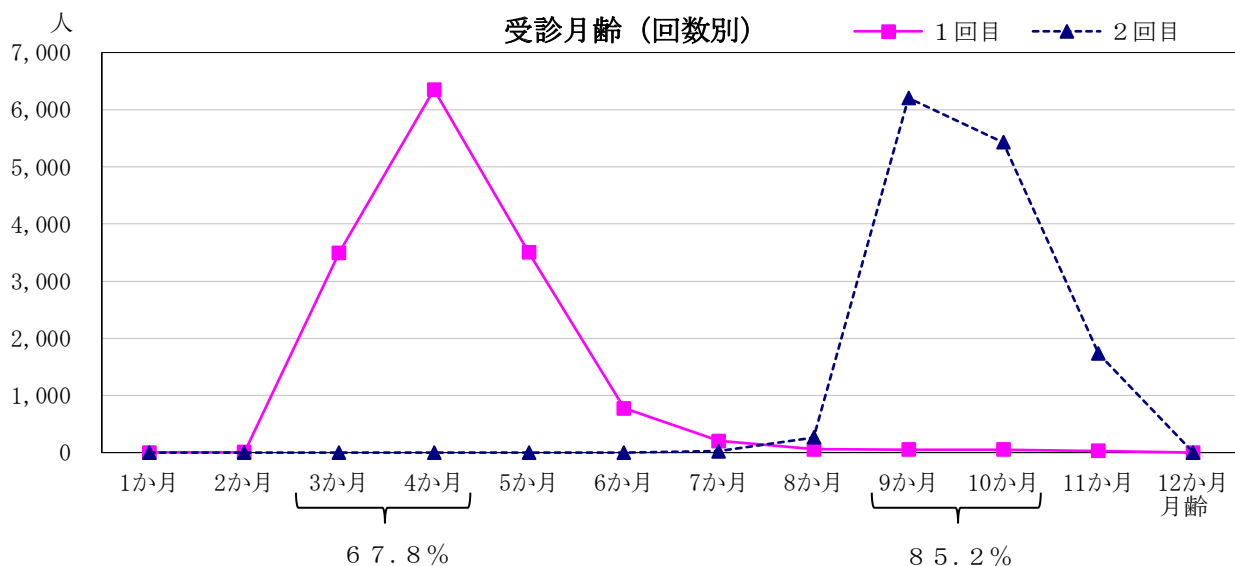
月齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計	
1回目	男	1	4	1,816	3,257	1,771	404	108	28	29	33	19	7,470
	女	1	6	1,680	3,096	1,730	372	93	28	25	21	13	7,065
	小計	2	10	3,496	6,353	3,501	776	201	56	54	54	32	14,535
2回目	男	-	-	-	-	-	-	11	133	3,162	2,759	861	6,926
	女	-	-	-	-	-	-	14	134	3,043	2,669	870	6,730
	小計	-	-	-	-	-	-	25	267	6,205	5,428	1,731	13,656
計	男	1	4	1,816	3,257	1,771	404	119	161	3,191	2,792	880	14,396
	女	1	6	1,680	3,096	1,730	372	107	162	3,068	2,690	883	13,795
	計	2	10	3,496	6,353	3,501	776	226	323	6,259	5,482	1,763	28,191
受診数に対する割合	0.0	0.0	12.4	22.5	12.4	2.8	0.8	1.1	22.2	19.4	6.3	100.0	
期	(前) 14,138						(後) 14,053						

(参照) 統計資料 No. 1～2

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、1回目が3～4か月（前期）、2回目が9～10か月（後期）とされている。受診状況を見ると、1回目3～4か月の受診は9,849人[67.8%]（H29年度75.4%）、2回目9～10か月は11,633人[85.2%]（H29年度87.7%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。

実施回数の少ない離島や対象者の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられる。

受診児（1回目と2回目）を性別にみると、男14,396人、女13,795人である。



乳児一般健康診査の受診率は、市町村の平成30年度対象者数31,346人で算出すると、全体として89.9%となっている。

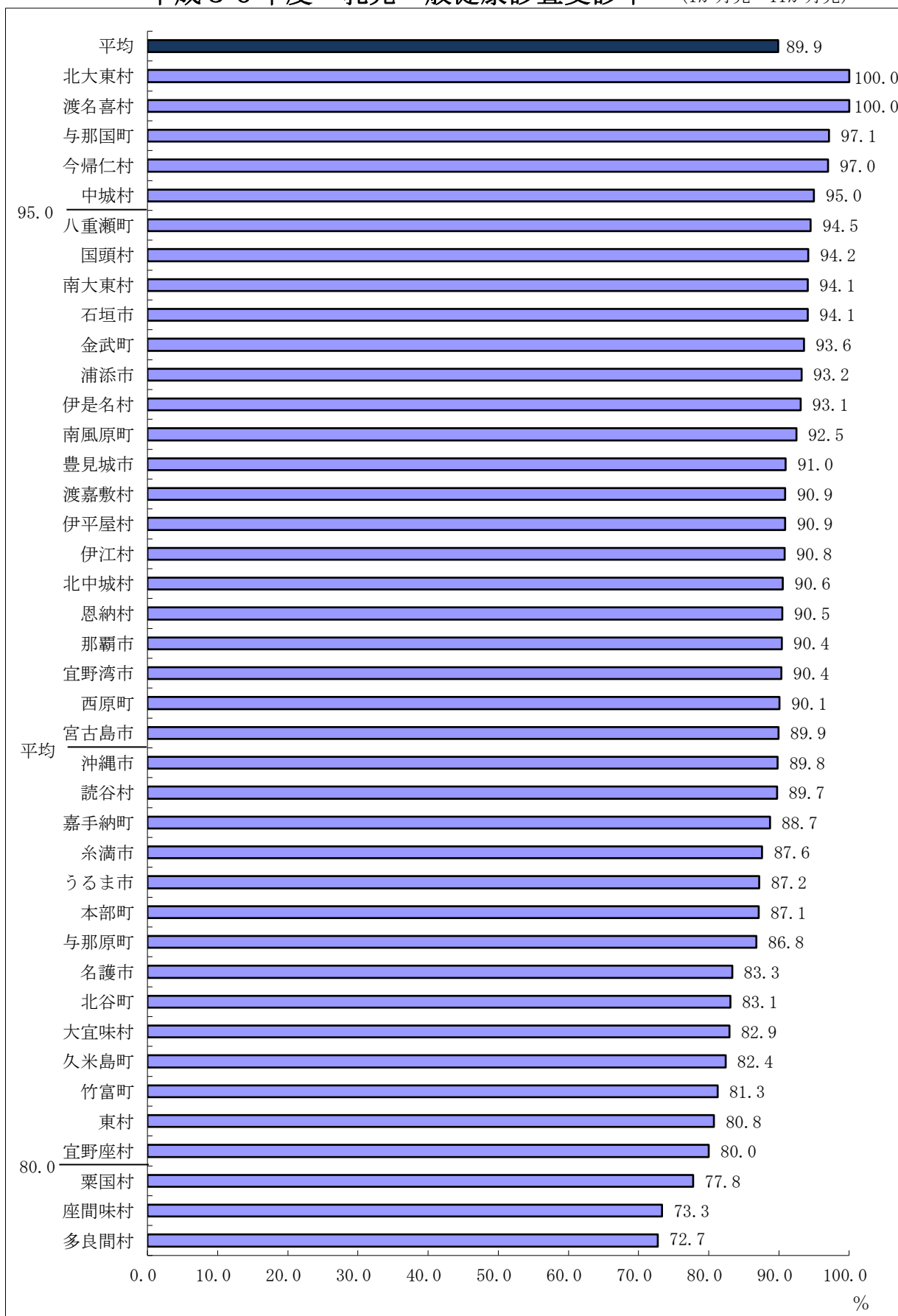
ちなみに、40市町村の平成30年（H30.1.1～H30.12.31）概算出生数15,406人（男7,972人、女7,434人）の単純対象数で算出すると、1回目が94.3%で、2回目が88.6%となる。

乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	15,406	14,535	94.3
2回目	15,406	13,656	88.6
計	30,812	28,191	91.5

注) 乳児期は、公費による受診機会が1人2回提供される。

平成30年度 乳児一般健康診査受診率 (1か月児～11か月児)



(参照) 統計資料 No. 3 経年比較資料 No. 24

3 出生直後の状況

3-1 在胎週数と出生時体重（1回目受診時）

受診1回目で月齢6か月までの児を在胎週数と出生時体重別に分類したものである。

在胎週数	出生時体重						計
	1,000g未満	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	記入なし	
満27週未満	3	1	-	1	-	-	5
28～35週	4	40	121	160	54	-	379
36～39週	-	1	57	927	8,676	7	9,668
満40週以上	-	-	1	56	3,959	3	4,019
記入なし	-	1	-	3	61	2	67
計	7	43	179	1,147	12,750	12	14,138

注) H25年の低出生体重児に関する調査によると、低出生体重児は出生体重が小さい程病院で経過観察されている。

3-2 お産のとき（1回目受診時）

お産時の状況をみると、正常分娩が63.7%で異常分娩が36.3%となっている。異常分娩の内訳では帝王切開が65.8%と高い割合になっている。

	正常分娩	異常分娩	小計	記入なし	計
実人員	9,247	5,272	14,519	16	14,535
%	63.7	36.3	100.0	-	-

単位：件

異常分娩（再掲）	骨盤位	吸引	鉗子	帝王切開	前期破水	臍帯巻絡	出血	早産	子宮内感染	その他	不明
5,272	340	1,218	8	3,467	452	106	161	345	19	127	14
%	6.4	23.1	0.2	65.8	8.6	2.0	3.1	6.5	0.4	2.4	0.3

（参照）統計資料 No. 19

3-3 生まれたとき（1回目受診時）

	なし	あり	ありの内訳			小計	記入なし	計
			正常	再検査	不明			
実人員	3,026	10,998	10,828	106	64	14,024	511	14,535
%	21.6	78.4	(99.0)	(1.0)	-	100.0	-	-

注) () は検査ありのうち、不明を除いた数を分母に算出した割合。
○H29年度厚生労働省の調査に基づく新生児聴覚検査実施率は81.8%。

（参照）統計資料 No. 21

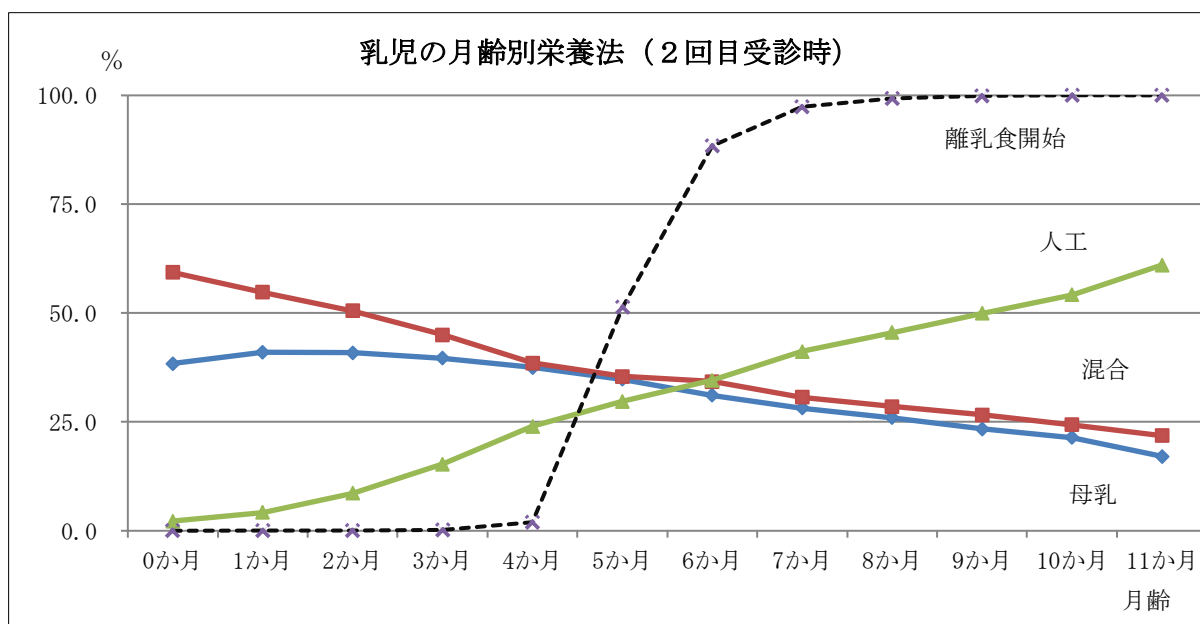
4 乳児の栄養法

4-1 月齢別栄養法と離乳食の実施状況（2回目受診時）

受診2回目の13,656人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月で混合栄養が45.0%、母乳栄養が39.6%、人工栄養が15.3%となっている。離乳食は、6か月で88.5%が実施している。

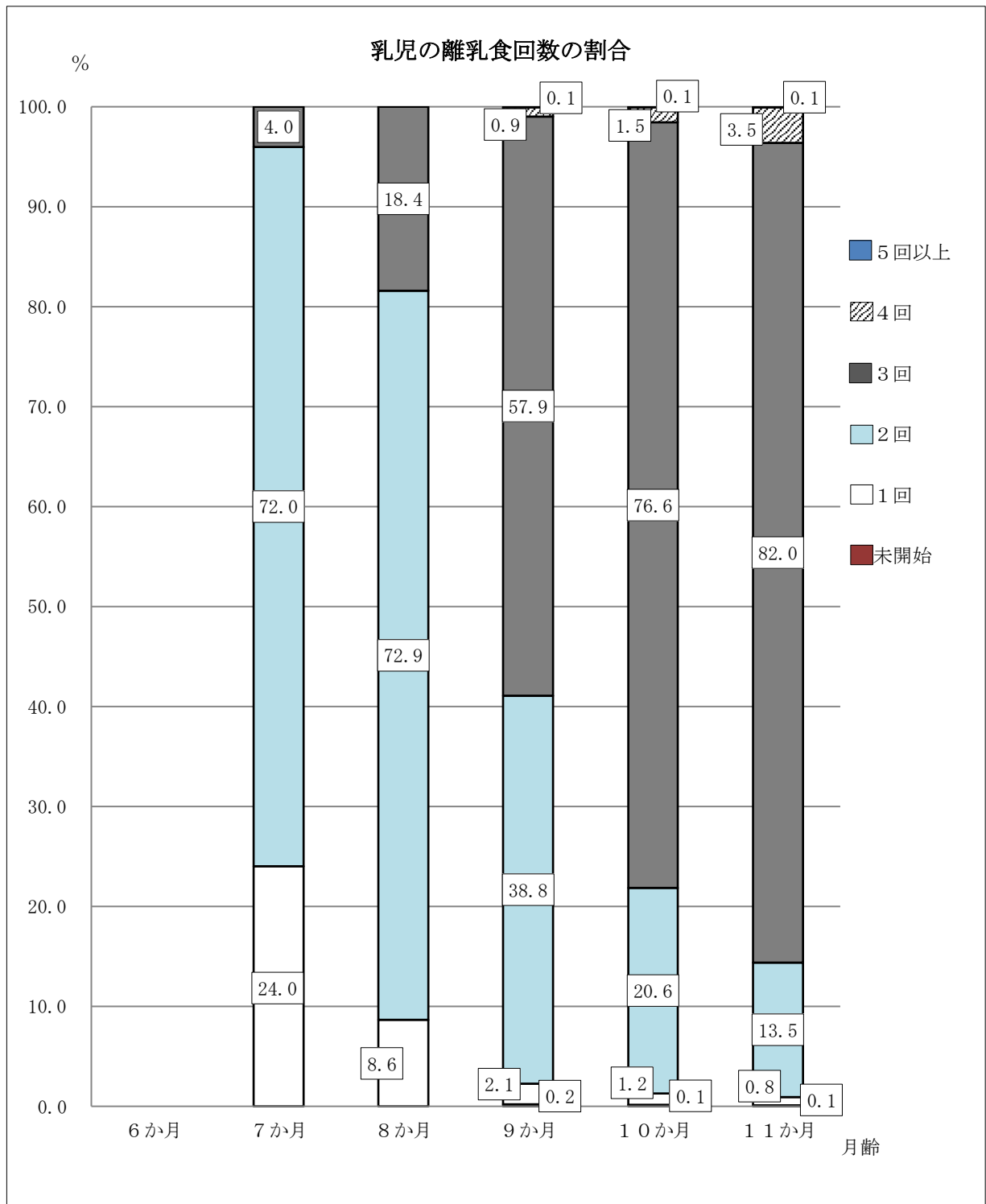
月齢(時)	集計件数(件)	母乳(%)	混合(%)	人工(%)	離乳食実施状況(%)
0か月	13,081	38.4	59.3	2.2	-
1か月	13,119	41.0	54.8	4.2	-
2か月	13,149	40.9	50.5	8.6	0.0
3か月	13,186	39.6	45.0	15.3	0.2
4か月	13,166	37.5	38.5	24.0	2.0
5か月	13,164	34.8	35.4	29.7	51.4
6か月	13,161	31.1	34.3	34.6	88.5
7か月	13,142	28.1	30.7	41.2	97.5
8か月	13,101	26.0	28.5	45.5	99.4
9か月	13,010	23.4	26.7	49.9	99.8
10か月	6,856	21.4	24.4	54.2	100.0
11か月	1,666	17.1	21.8	61.0	100.0
割合	-	33.3	39.4	27.3	-

注) 月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。



4-2 月齢別離乳食回数（2回目受診時）

離乳食回数について、6か月から11か月児までを対象に集計をした。9か月児は2回食が38.8%、3回食が57.9%となっている。



注) H30年度の2回目受診においては、月齢6か月児はいない。

4-3 離乳食の状況（2回目受診時）

○離乳食の開始月齢（10か月児）

開始月齢	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	小計	未開始	記入なし
実人員	16	102	2,625	1,971	496	115	34	4	5,363	7	58
%	0.3	1.9	48.9	36.8	9.2	2.1	0.6	0.1	100.0	-	-

○離乳食の食べ方（6か月～11か月児）

単位：人

月齢	よく食べる	嫌がる	時間がかかる	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	-	-	-	-	-	-	-
%	-	-	-	-	-	-	-
7か月	20	3	1	1	25	-	-
%	80.0	12.0	4.0	-	100.0	-	-
8か月	226	8	30	3	267	-	-
%	84.6	3.0	11.2	1.1	100.0	-	-
9か月	5,163	357	572	99	6,191	13	1
%	83.4	5.8	9.2	1.6	100.0	-	-
10か月	4,593	259	510	58	5,420	7	1
%	84.7	4.8	9.4	1.1	100.0	-	-
11か月	1,513	77	126	12	1,728	2	1
%	87.6	4.5	7.3	0.7	100.0	-	-
計	11,515	704	1,239	173	13,631	22	3
%	84.5	5.2	9.1	1.3	100.0	-	-

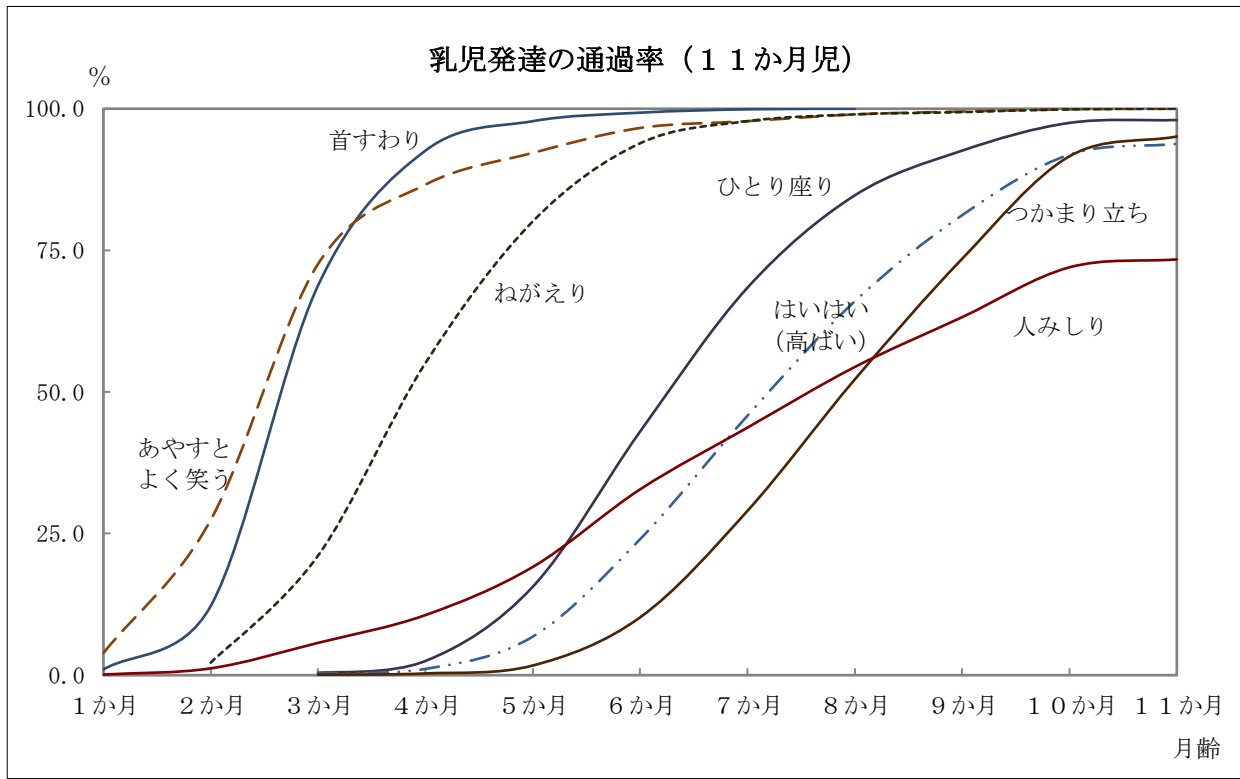
○ベビーフードの利用（6か月～11か月児）

単位：人

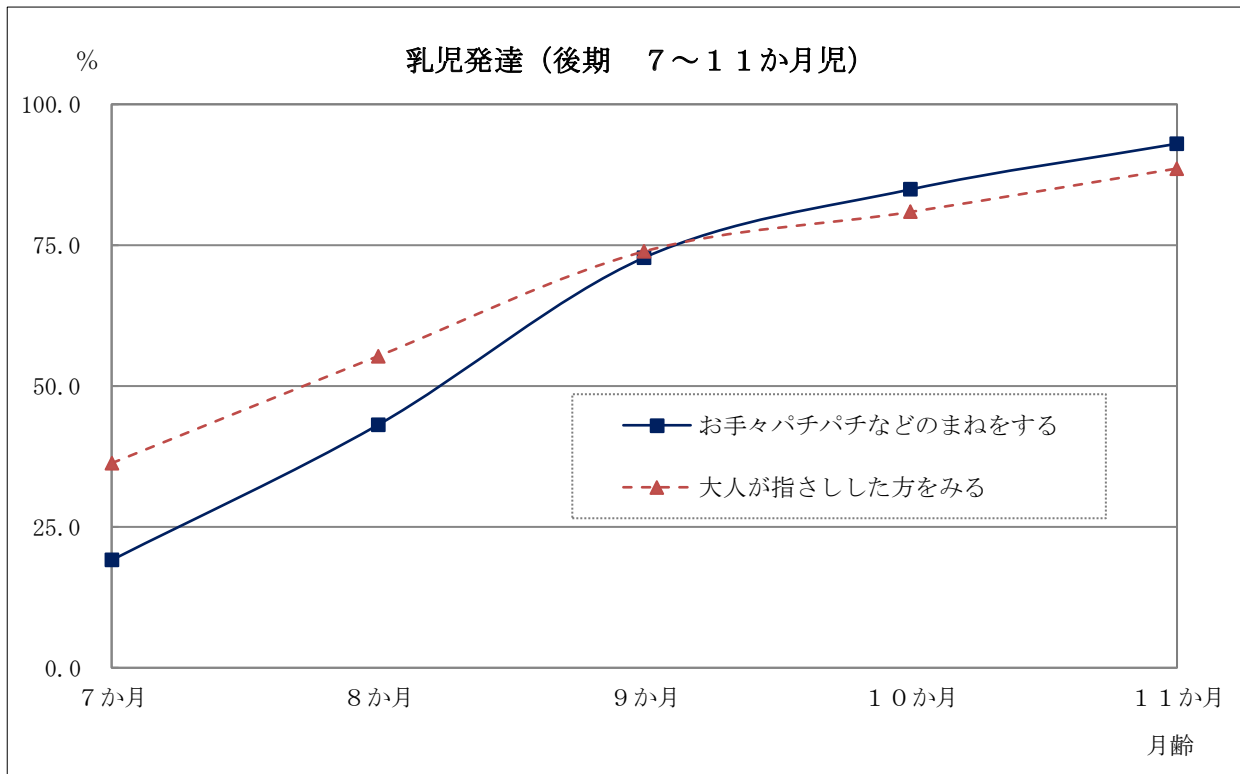
月齢	使わない	時々	よく使う	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	-	-	-	-	-	-	-
%	-	-	-	-	-	-	-
7か月	7	14	4	-	25	-	-
%	28.0	56.0	16.0	-	100.0	-	-
8か月	66	146	53	2	267	-	-
%	24.7	54.7	19.9	0.7	100.0	-	-
9か月	2,088	3,286	796	21	6,191	13	1
%	33.7	53.1	12.9	0.3	100.0	-	-
10か月	1,890	2,818	695	17	5,420	7	1
%	34.9	52.0	12.8	0.3	100.0	-	-
11か月	612	893	214	9	1,728	2	1
%	35.4	51.7	12.4	0.5	100.0	-	-
計	4,663	7,157	1,762	49	13,631	22	3
%	34.2	52.5	12.9	0.4	100.0	-	-

5 発達

乳児の運動発達について、受診時の月齢が11か月児1,763人を対象に分類した。



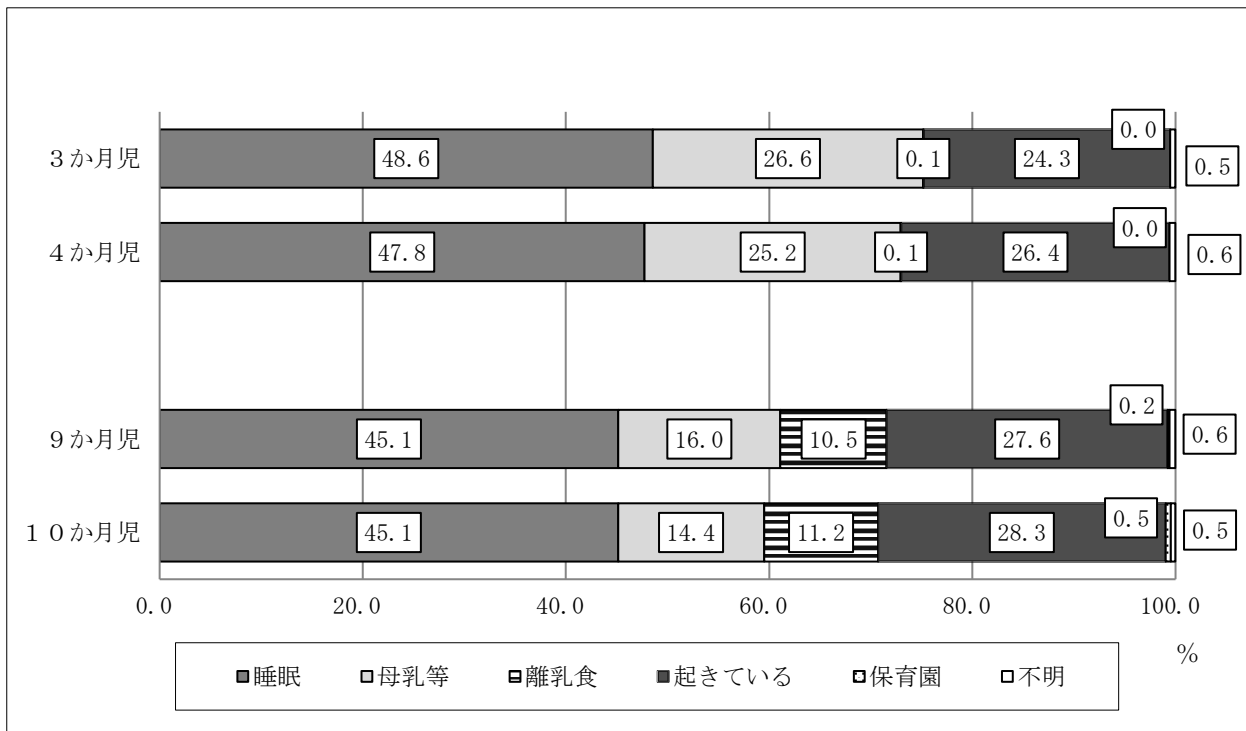
乳児の社会性発達については、受診時の月齢が7～11か月の児14,053人を対象に分類した。



6 乳児の生活リズム

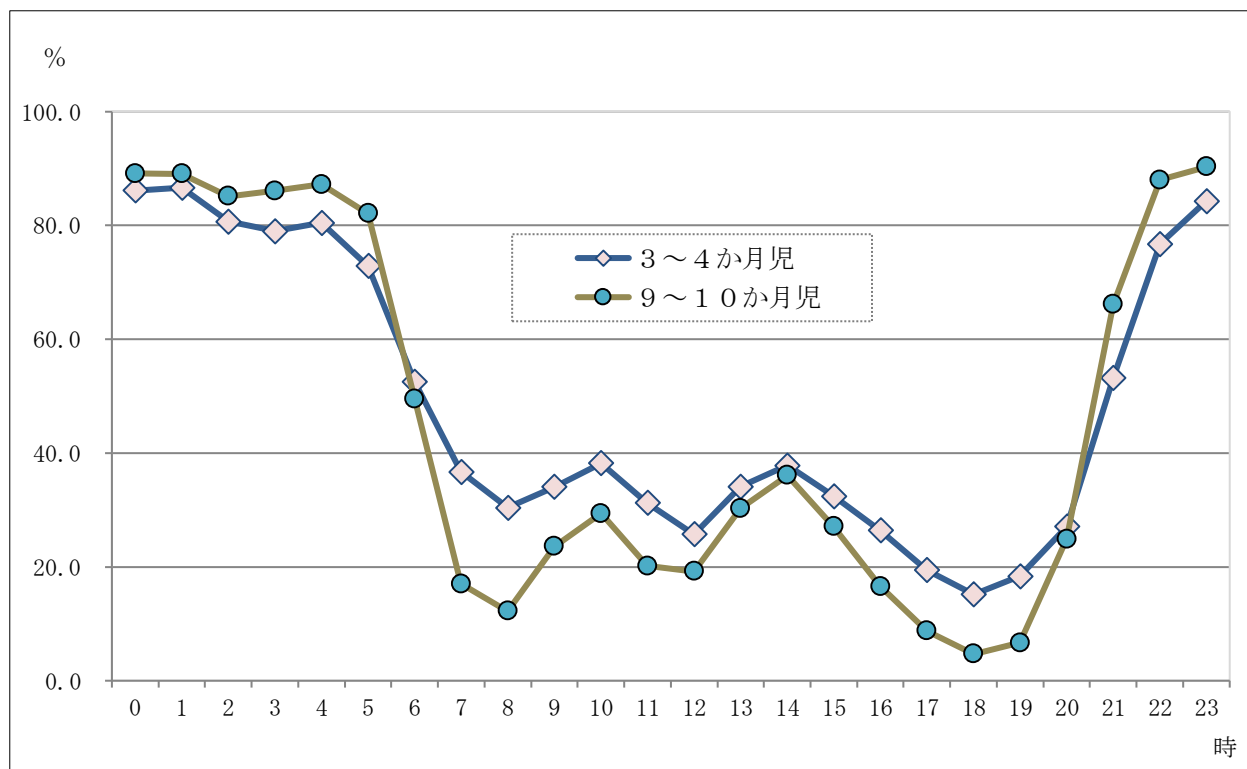
○乳児の一日の生活状況（3～4か月児・9～10か月児）

乳児の一日の生活リズムの割合を示したものである。



○乳児の一日の睡眠リズム（3～4か月児・9～10か月児）

24時間における、乳児の睡眠の割合を示したものである。



7 診察・検査結果

平成30年度の乳児一般健康診査の受診児は28,191人で、医師総合判定の結果、問題なし児が21,264人(75.4%)、要相談等の何らかの判定がある児が6,927人(24.6%)となっている。

診察所見および検査については、診察所見の内容内訳は4,889件、貧血検査結果の異常がある児は2,716件で、延べ7,605件となっている。総合判定結果および診察所見について分類したものを以下に示す。

なお、貧血検査については乳児後期のみを実施している。

総合判定(実人員)

単位：人

判定		問題なし	判定結果異常等(実人員)						小計
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	28,191	21,264	2,550	711	2,337	75	416	838	6,927
%	100.0	75.4	9.0	2.5	8.3	0.3	1.5	3.0	-

(診察所見及び検査の内訳)

計	(1)診察有所見	(2)貧血検査の異常
7,605	4,889	2,716

(1) 有所見(件数)	(有所見内訳)						
	発育	皮膚	頭頸部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻 咽喉	
小計	4,889	660	1,739	101	86	76	72

(有所見内訳)						
胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・ 神経	その他の 異常
245	164	282	66	1,109	146	143

(2) 貧血検査の異常(件数)		
	前期	後期
小計	2	2,714

※貧血は、ヘモグロビン値11.0g/dl未満を集計

(参照) 統計資料 No. 3~6

7-1 診察有所見の内訳

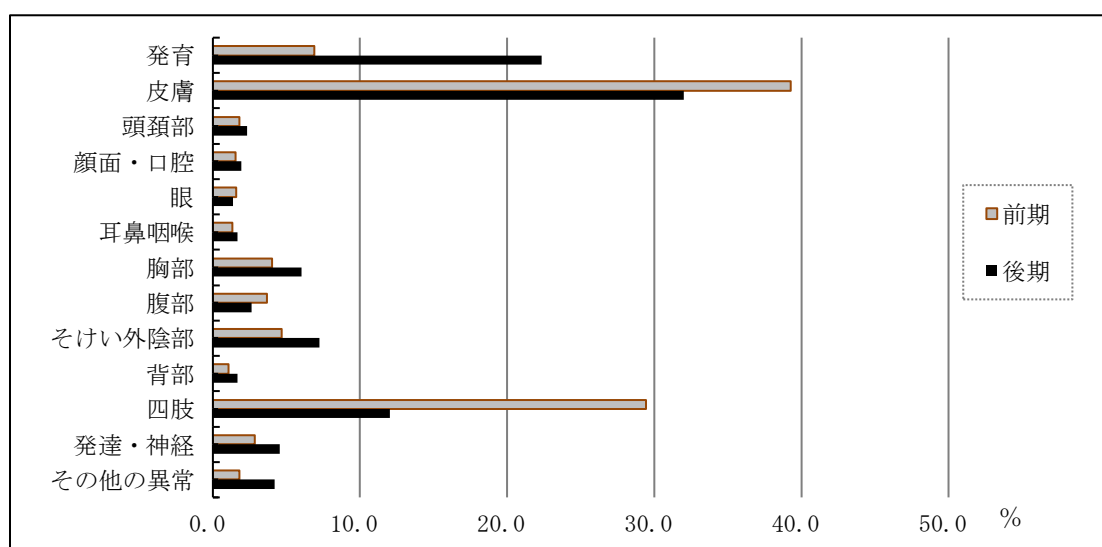
有所見の内訳

受診者数 28,191 人、うち診察有所見のある児が 4,889 人 (17.3%) となっている。

診察有所見は複数記入がある場合、同部位内はシステム上 1 件のカウントになっている。部位内のすべての所見を含め延べ件数として示した。

		計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	前期	2,821	199	1,087	52	45	46	37
	後期	2,068	461	652	49	41	30	35
	計	4,889	660	1,739	101	86	76	72
延べ件数	前期	2,896	200	1,137	52	45	46	38
	%	100.0	6.9	39.3	1.8	1.6	1.6	1.3
	後期	2,164	484	693	50	42	30	36
	%	100.0	22.4	32.0	2.3	1.9	1.4	1.7
	計	5,060	684	1,830	102	87	76	74

	胸部	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の異常
前期	117	107	130	31	851	67	52
後期	128	57	152	35	258	79	91
計	245	164	282	66	1,109	146	143
前期	117	107	136	31	853	82	52
%	4.0	3.7	4.7	1.1	29.5	2.8	1.8
後期	130	57	157	36	260	98	91
%	6.0	2.6	7.3	1.7	12.0	4.5	4.2
計	247	164	293	67	1,113	180	143

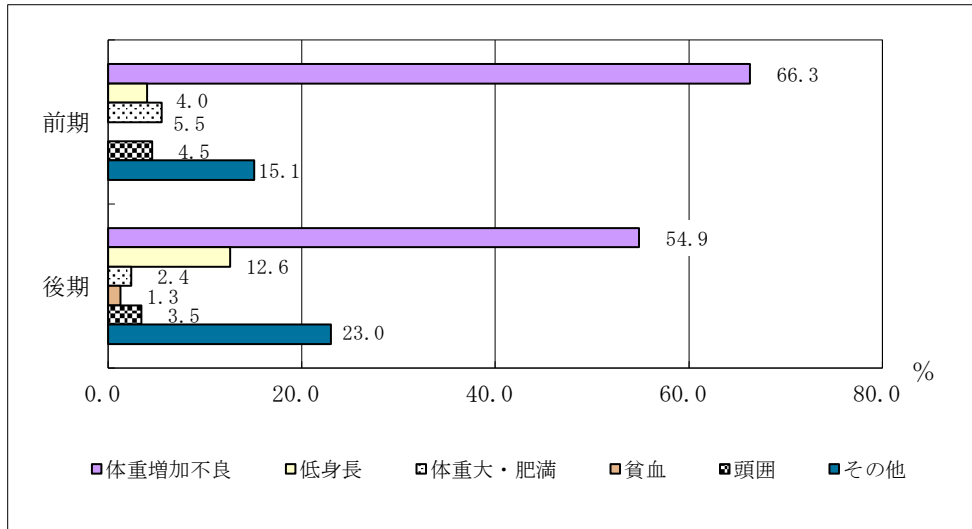


(参照) 統計資料 No. 3~6

①<発育>

単位：件

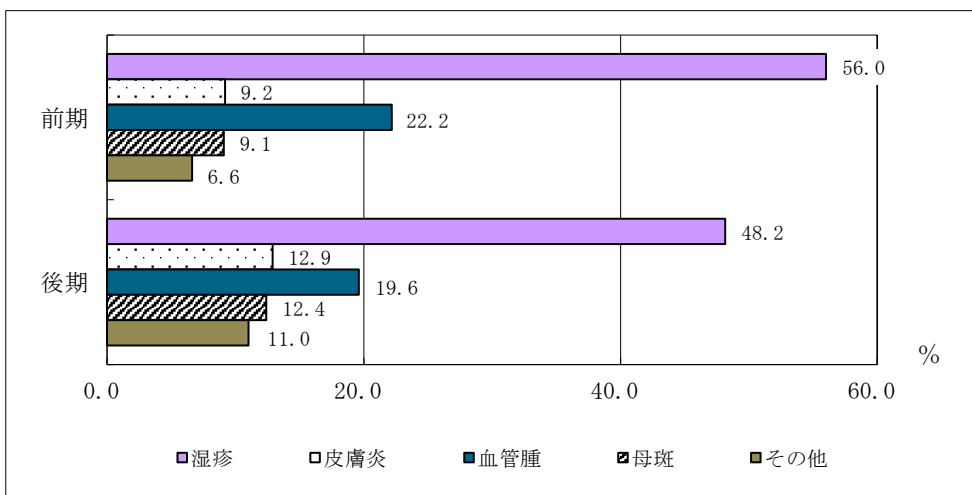
件数		体重増加不良	低身長	体重大・肥満	貧血	頭囲	その他	記入なし	延べ件数
前期	199	132	8	11	-	9	30	10	200
%	30.2	66.3	4.0	5.5	-	4.5	15.1	5.0	-
後期	461	253	58	11	6	16	106	34	484
%	69.8	54.9	12.6	2.4	1.3	3.5	23.0	7.4	-
計	660	385	66	22	6	25	136	44	684
%	100.0	58.3	10.0	3.3	0.9	3.8	20.6	6.7	-



②<皮膚>

単位：件

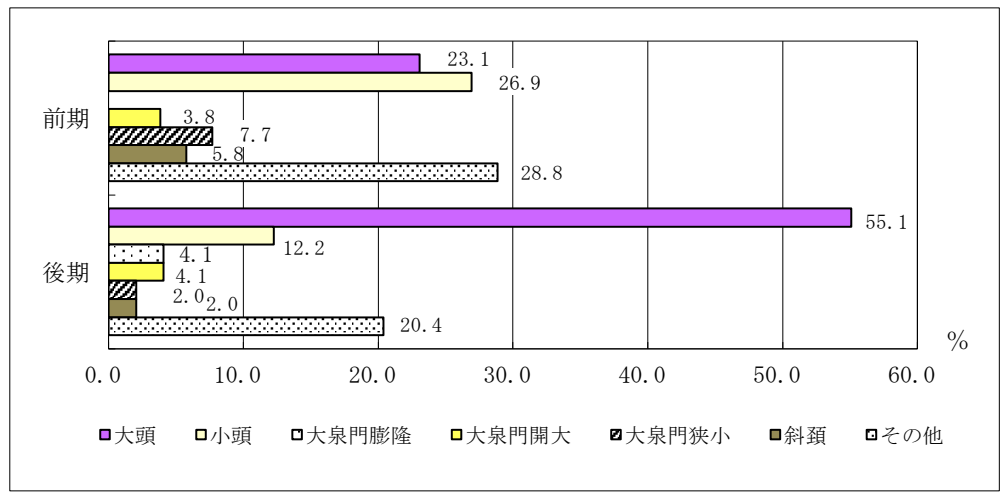
件数		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	その他	記入なし	延べ件数
前期	1,087	609	100	241	99	72	16	1,137
%	62.5	56.0	9.2	22.2	9.1	6.6	1.5	-
後期	652	314	84	128	81	72	14	693
%	37.5	48.2	12.9	19.6	12.4	11.0	2.1	-
計	1,739	923	184	369	180	144	30	1,830
%	100.0	53.1	10.6	21.2	10.4	8.3	1.7	-



③<頭頸部>

単位：件

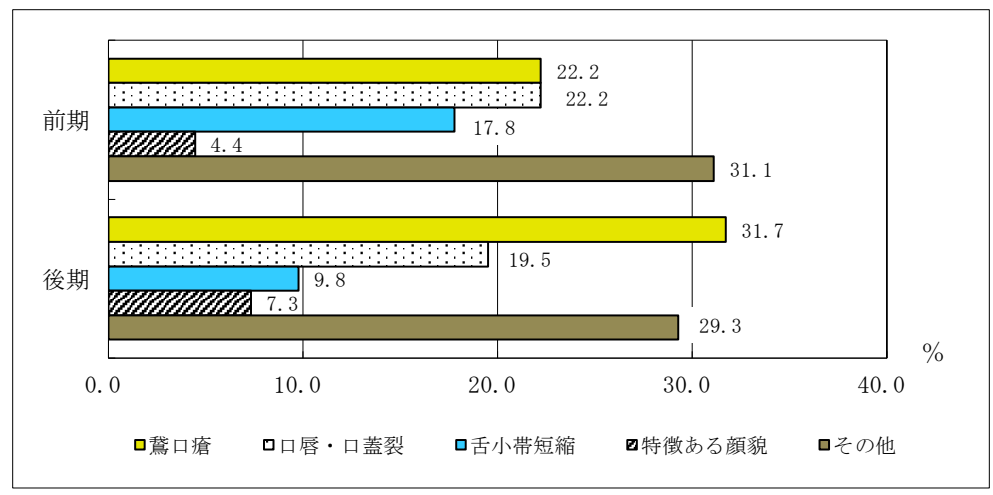
件数		大頭	小頭	大泉門膨隆	大泉門開大	大泉門狭小	斜頸	その他	記入なし	延べ件数
前期	52	12	14	-	2	4	3	15	2	52
%	51.5	23.1	26.9	-	3.8	7.7	5.8	28.8	3.8	-
後期	49	27	6	2	2	1	1	10	1	50
%	48.5	55.1	12.2	4.1	4.1	2.0	2.0	20.4	2.0	-
計	101	39	20	2	4	5	4	25	3	102
%	100.0	38.6	19.8	2.0	4.0	5.0	4.0	24.8	3.0	-



④<顔面・口腔>

単位：件

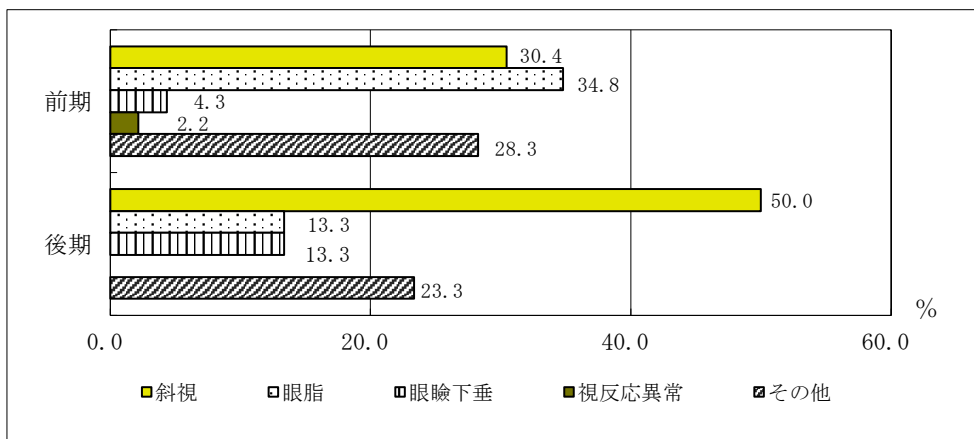
件数		鷺口瘡	口唇・口蓋裂	舌小帯短縮	特徴ある顔貌	その他	記入なし	延べ件数
前期	45	10	10	8	2	14	1	45
%	52.3	22.2	22.2	17.8	4.4	31.1	2.2	-
後期	41	13	8	4	3	12	2	42
%	47.7	31.7	19.5	9.8	7.3	29.3	4.9	-
計	86	23	18	12	5	26	3	87
%	100.0	26.7	20.9	14.0	5.8	30.2	3.5	-



⑤<眼>

単位：件

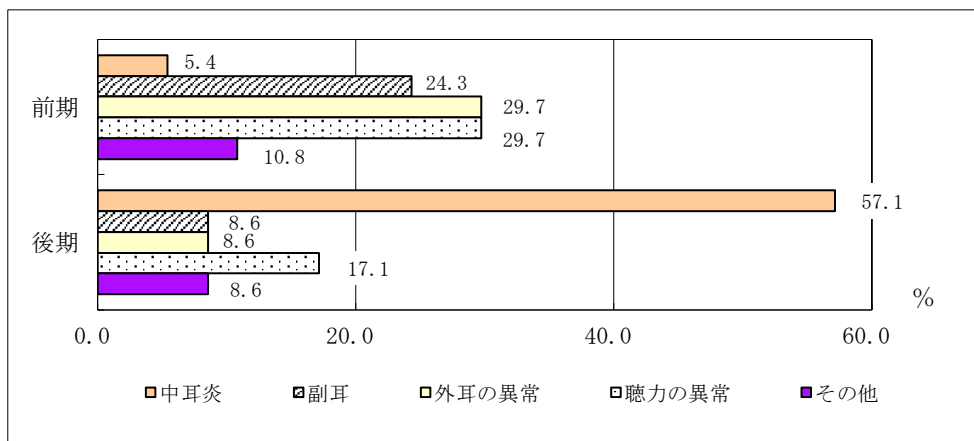
件数		斜視	眼脂	眼瞼下垂	視反応異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	46	14	16	2	1	13	-	46
%	60.5	30.4	34.8	4.3	2.2	28.3	-	-
後期	30	15	4	4	-	7	-	30
%	39.5	50.0	13.3	13.3	-	23.3	-	-
計	76	29	20	6	1	20	-	76
%	100.0	38.2	26.3	7.9	1.3	26.3	-	-



⑥<耳鼻咽喉>

単位：件

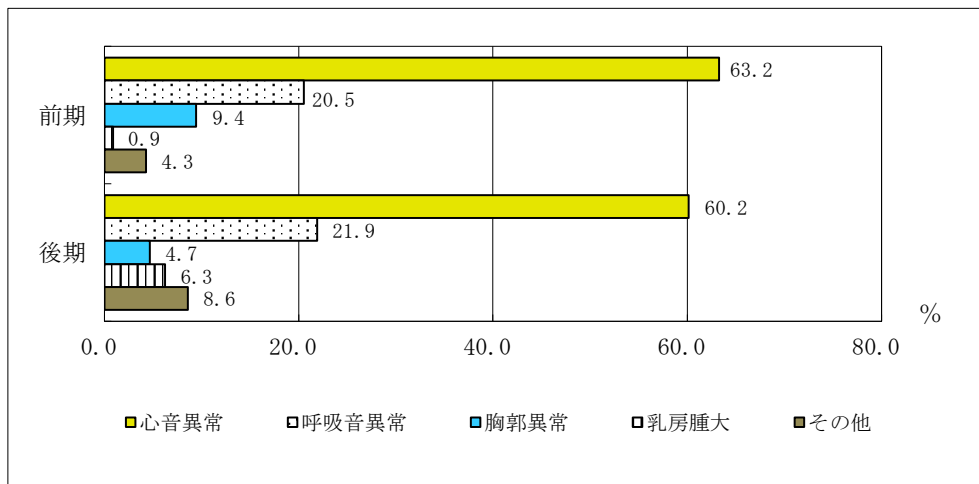
件数		中耳炎	副耳	外耳の異常	聴力の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	37	2	9	11	11	4	1	38
%	51.4	5.4	24.3	29.7	29.7	10.8	2.7	-
後期	35	20	3	3	6	3	1	36
%	48.6	57.1	8.6	8.6	17.1	8.6	2.9	-
計	72	22	12	14	17	7	2	74
%	100.0	30.6	16.7	19.4	23.6	9.7	2.8	-



⑦<胸部>

単位：件

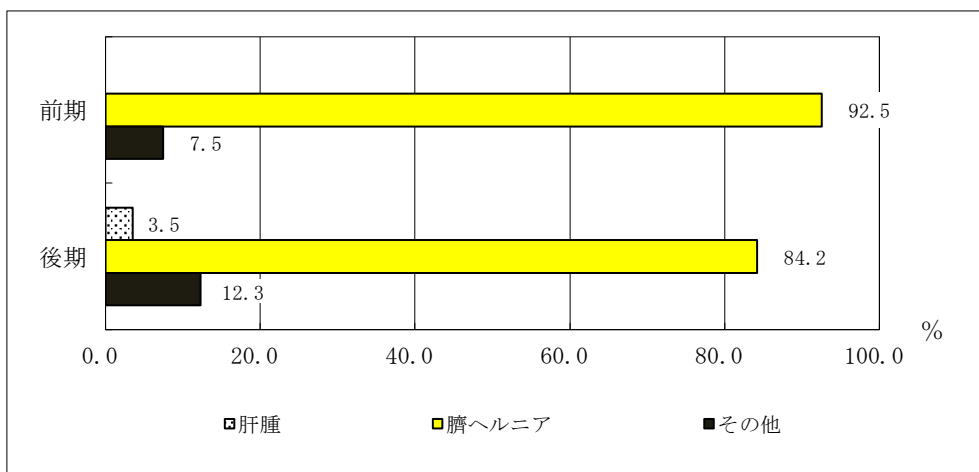
件数		心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他	記入なし	延べ件数
前期	117	74	24	11	1	5	2	117
%	47.8	63.2	20.5	9.4	0.9	4.3	1.7	-
後期	128	77	28	6	8	11	-	130
%	52.2	60.2	21.9	4.7	6.3	8.6	-	-
計	245	151	52	17	9	16	2	247
%	100.0	61.6	21.2	6.9	3.7	6.5	0.8	-



⑧<腹部>

単位：件

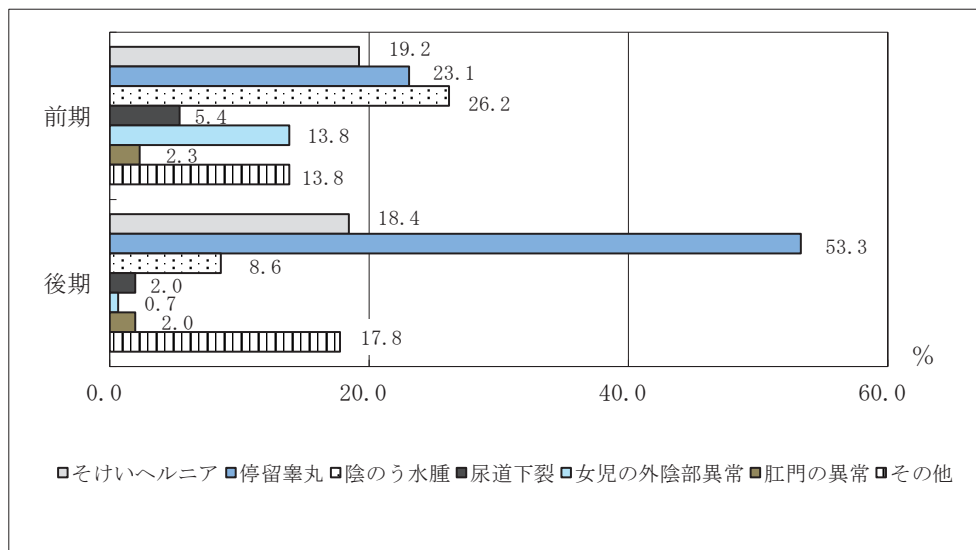
件数		肝腫	臍ヘルニア	その他	延べ件数
前期	107	-	99	8	107
%	65.2	-	92.5	7.5	-
後期	57	2	48	7	57
%	34.8	3.5	84.2	12.3	-
計	164	2	147	15	164
%	100.0	1.2	89.6	9.1	-



⑨<そけい外陰部>

単位：件

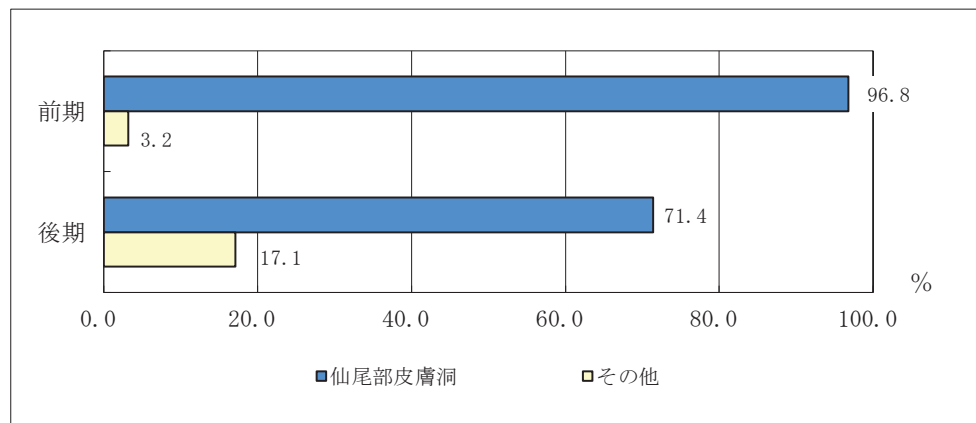
件数		そけいヘルニア	停留睾丸	陰のう水腫	尿道下裂	女児の外陰部異常	肛門の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	130	25	30	34	7	18	3	18	1	136
%	46.1	19.2	23.1	26.2	5.4	13.8	2.3	13.8	0.8	-
後期	152	28	81	13	3	1	3	27	1	157
%	53.9	18.4	53.3	8.6	2.0	0.7	2.0	17.8	0.7	-
計	282	53	111	47	10	19	6	45	2	293
%	100.0	18.8	39.4	16.7	3.5	6.7	2.1	16.0	0.7	-



⑩<背部>

単位：件

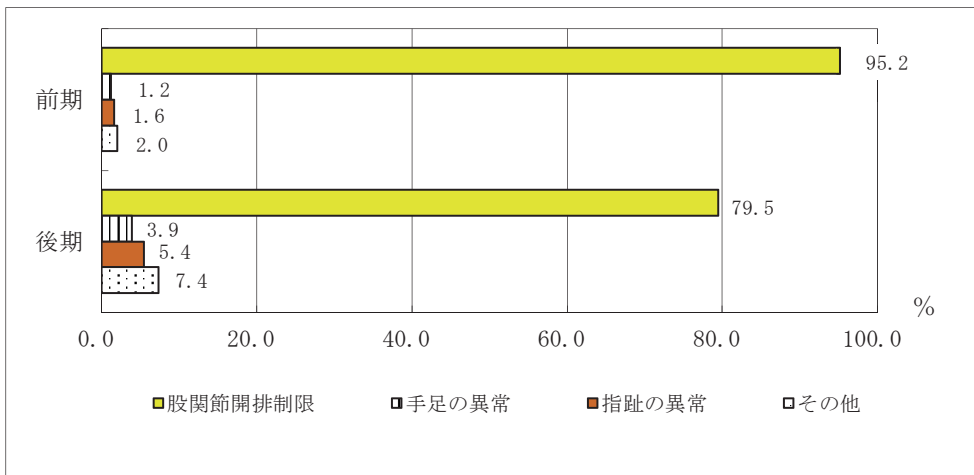
件数		仙尾部皮膚洞	その他	記入なし	延べ件数
前期	31	30	1	-	31
%	47.0	96.8	3.2	-	-
後期	35	25	6	5	36
%	53.0	71.4	17.1	14.3	-
計	66	55	7	5	67
%	100.0	83.3	10.6	7.6	-



⑪<四肢>

単位：件

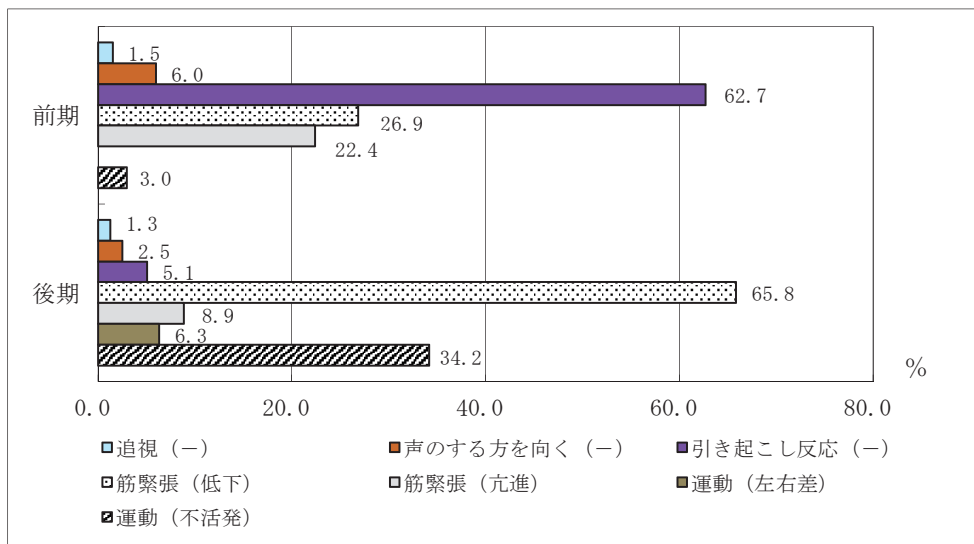
件数		股関節 開排制限	手足の 異常	指趾の 異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	851	810	10	14	17	2	853
%	76.7	95.2	1.2	1.6	2.0	0.2	-
後期	258	205	10	14	19	12	260
%	23.3	79.5	3.9	5.4	7.4	4.7	-
計	1,109	1,015	20	28	36	14	1,113
%	100.0	91.5	1.8	2.5	3.2	1.3	-



⑫<発達・神経>

単位：件

件数		追視 (-)	声のする 方を向く (-)	引き起こし 反応(-)	筋緊張 (低下)	筋緊張 (亢進)	運動 (左右差)	運動 (不活発)	延べ件数
前期	67	1	4	42	18	15	-	2	82
%	45.9	1.5	6.0	62.7	26.9	22.4	-	3.0	-
後期	79	1	2	4	52	7	5	27	98
%	54.1	1.3	2.5	5.1	65.8	8.9	6.3	34.2	-
計	146	2	6	46	70	22	5	29	180
%	100.0	1.4	4.1	31.5	47.9	15.1	3.4	19.9	-



7-2 検査結果の内訳

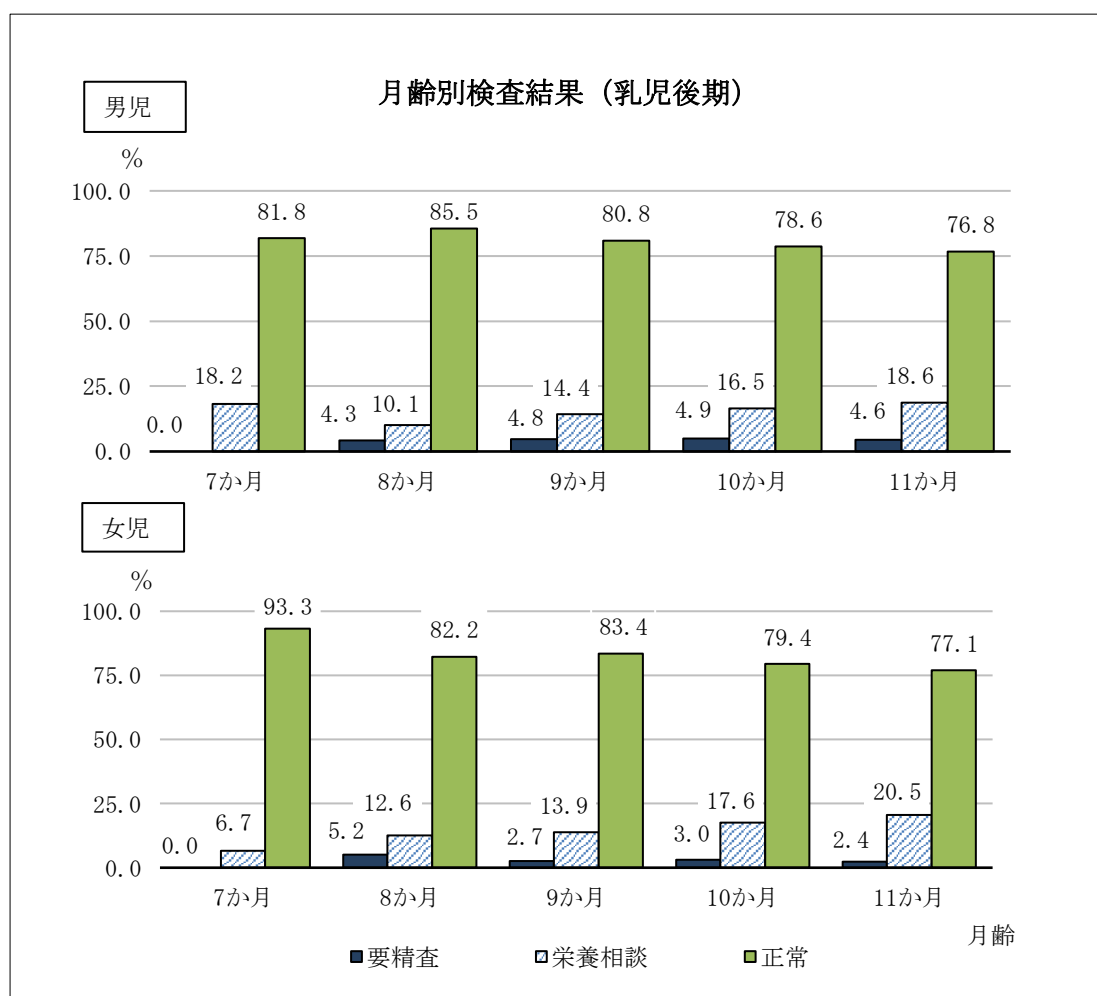
貧血検査

貧血検査は乳児後期を対象とし、検査実施の児は13,745人(97.8%)、未検査は308人(2.2%)となっている。実施者の内訳は、要精査は525人(3.8%)、栄養相談が必要な児は2,189人(15.9%)、正常は11,031人(80.3%)となっている。

単位：人

		検査実施 小計	要精査 9.9g/dl以下	栄養相談 10.0~10.9g/dl	正常 11.0g/dl以上	未検査	計
後 期	男	6,978	335	1,094	5,549	165	7,143
	女	6,767	190	1,095	5,482	143	6,910
	計	13,745	525	2,189	11,031	308	14,053
	%	97.8	3.8	15.9	80.3	2.2	-

(参照) 統計資料 No. 7~8

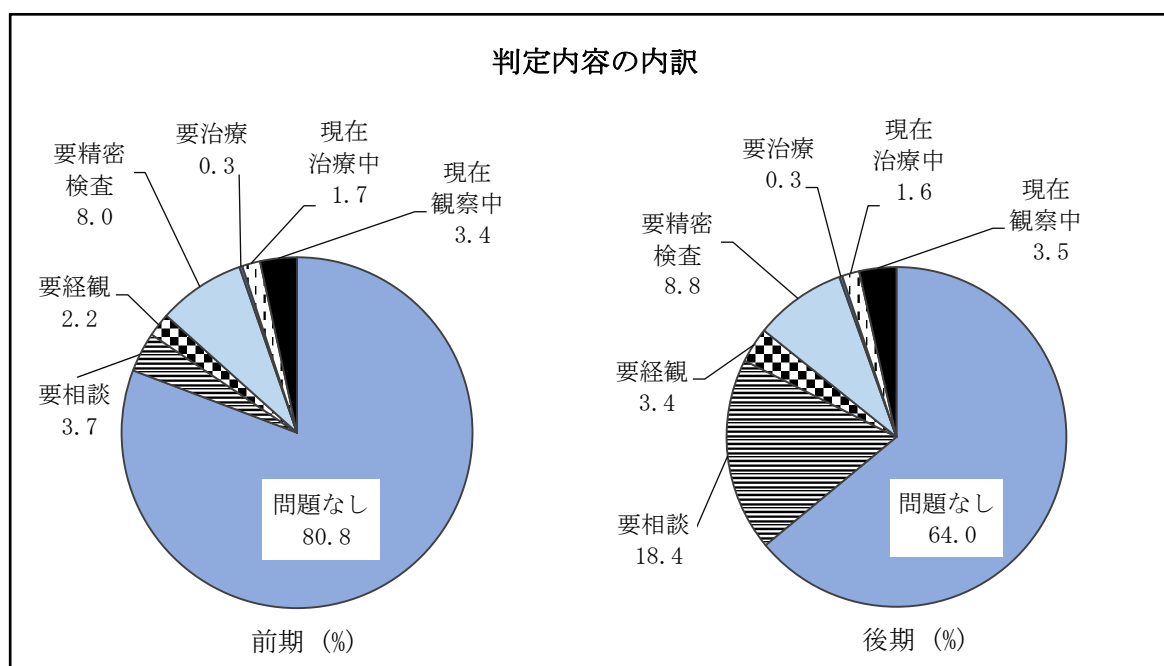


8 総合判定

受診者数 28,191 人、うち総合判定の結果、問題なし児が 21,264 人、判定結果異常等あり児が 6,927 人となっている。

判定結果で複数ある判定内容も含め集計した延べ件数は、29,426 件となる。その内訳は、問題なし 21,264 件、何らかの判定あり 8,162 件となっている。

判定		判定結果異常等（実人員）							小計
		問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	28,191	21,264	2,550	711	2,337	75	416	838	6,927
%	100.0	75.4	9.0	2.5	8.3	0.3	1.5	3.0	-
前期	14,494	11,708	533	315	1,166	40	241	491	2,786
%	100.0	80.8	3.7	2.2	8.0	0.3	1.7	3.4	-
後期	14,932	9,556	2,750	502	1,309	43	245	527	5,376
%	100.0	64.0	18.4	3.4	8.8	0.3	1.6	3.5	-
延べ件数	29,426	21,264	3,283	817	2,475	83	486	1,018	8,162
%	100.0	72.3	11.2	2.8	8.4	0.3	1.7	3.5	-

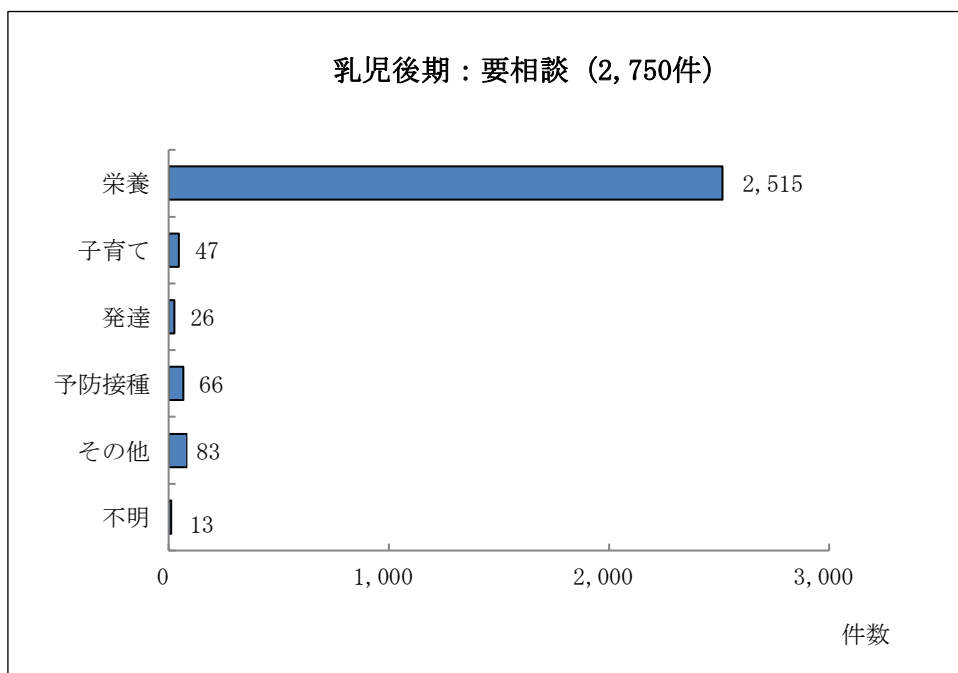
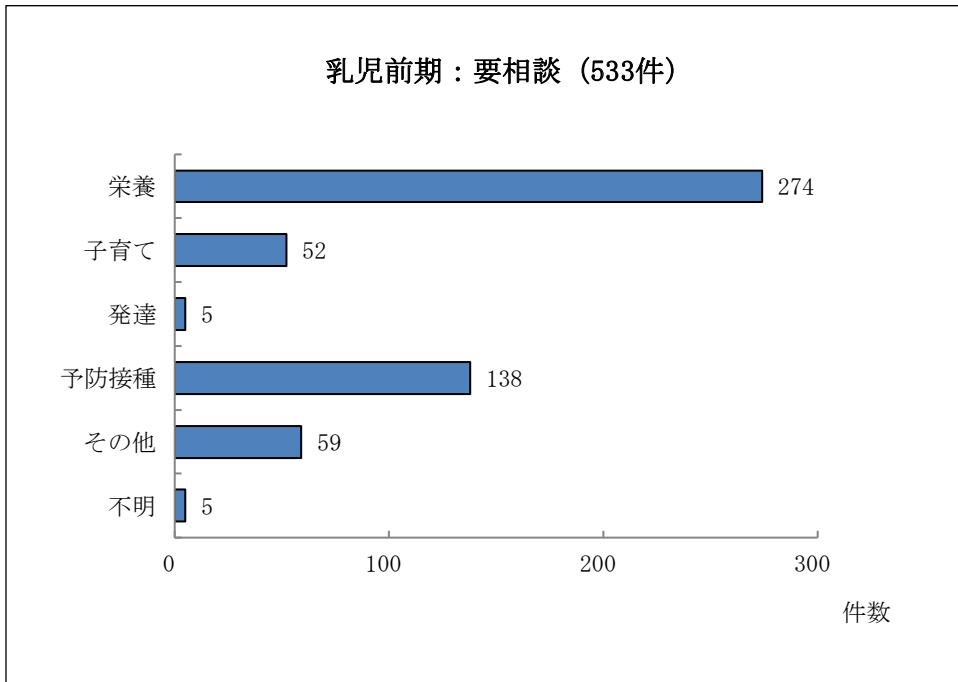


(参照) 統計資料 No. 3~6 経年比較資料 No. 23

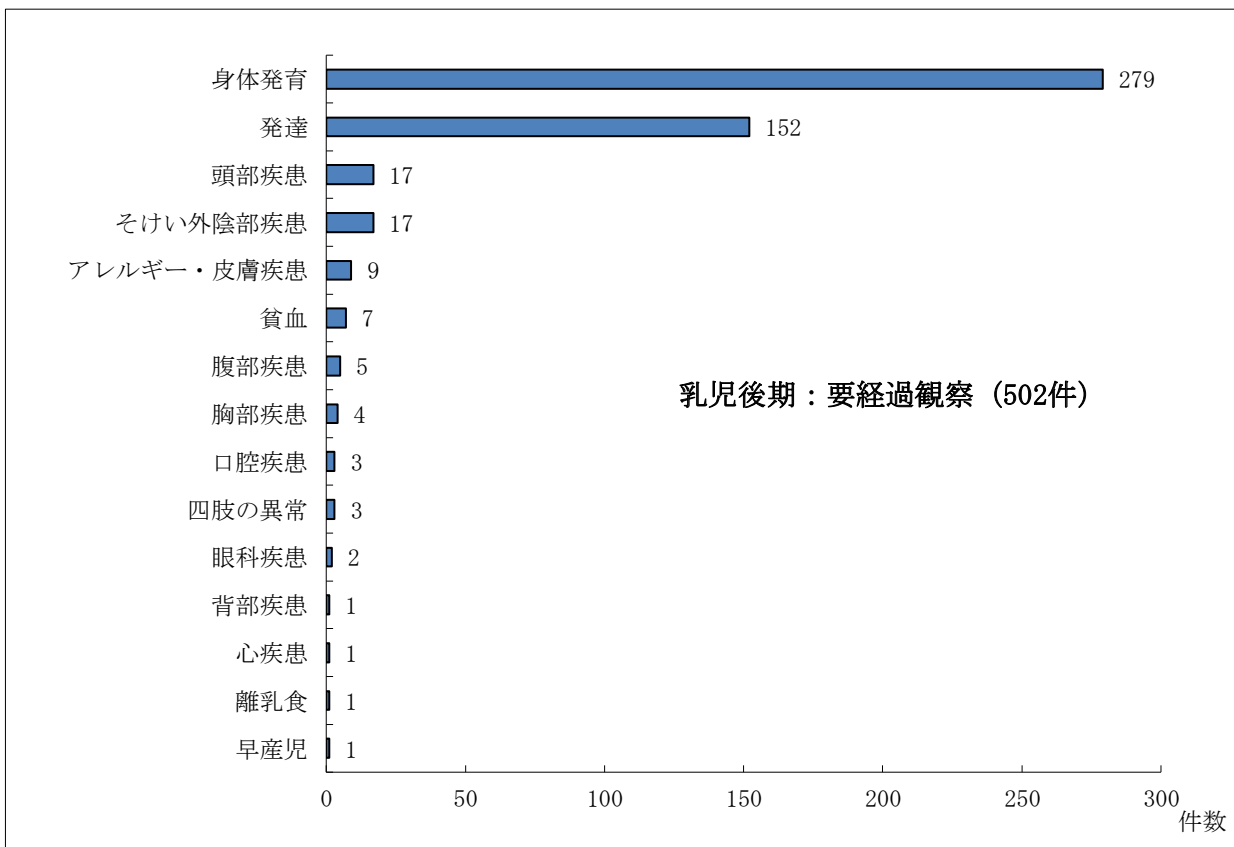
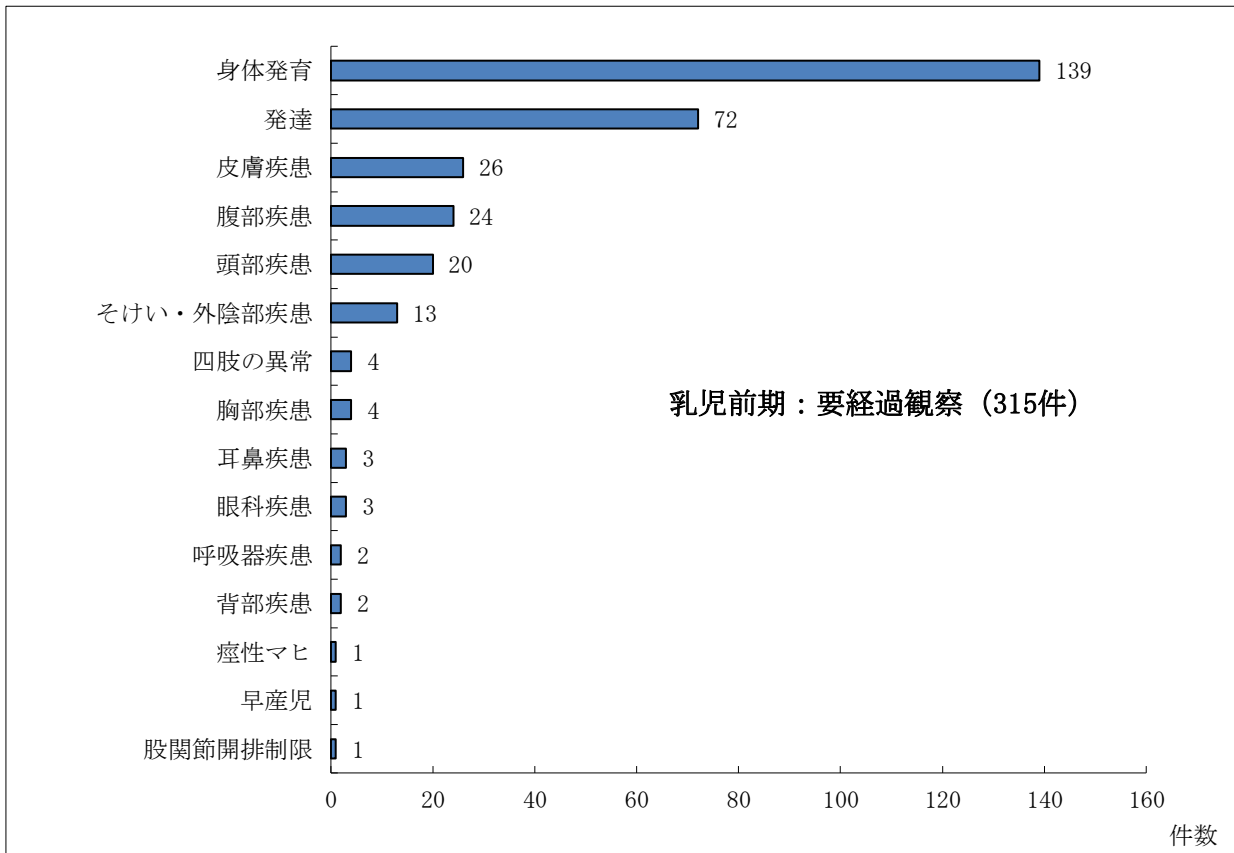
8-1 要相談について

医師の診察結果で相談が必要な場合、専門職へつなぐ内容を示したものである。

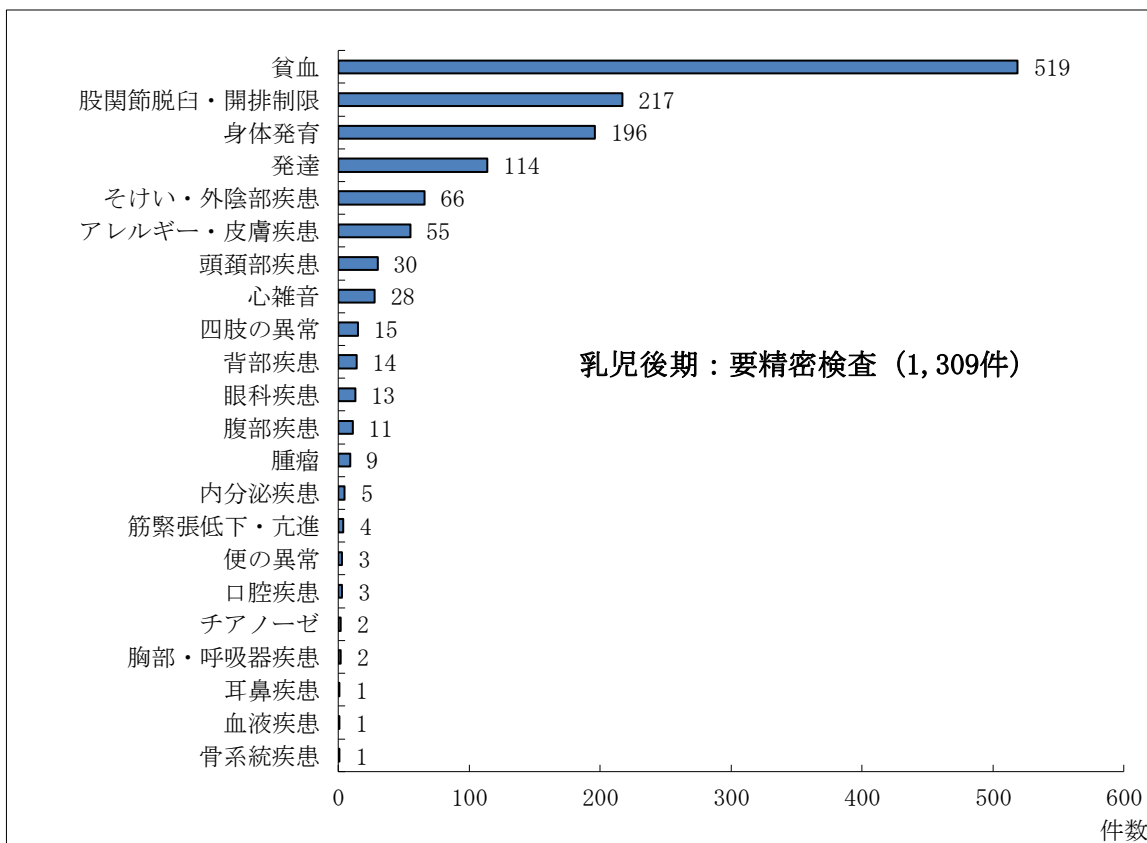
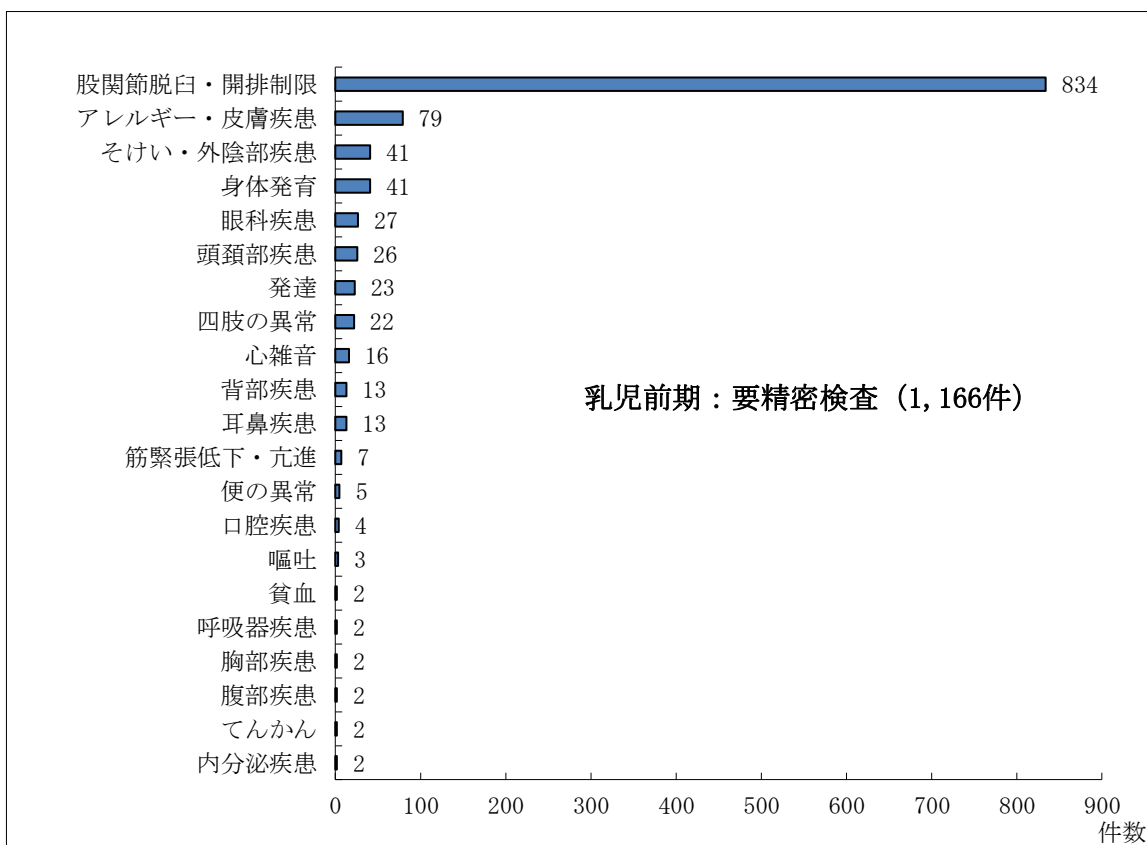
項目においては複数の判定記入があり、それらも含め分類した。



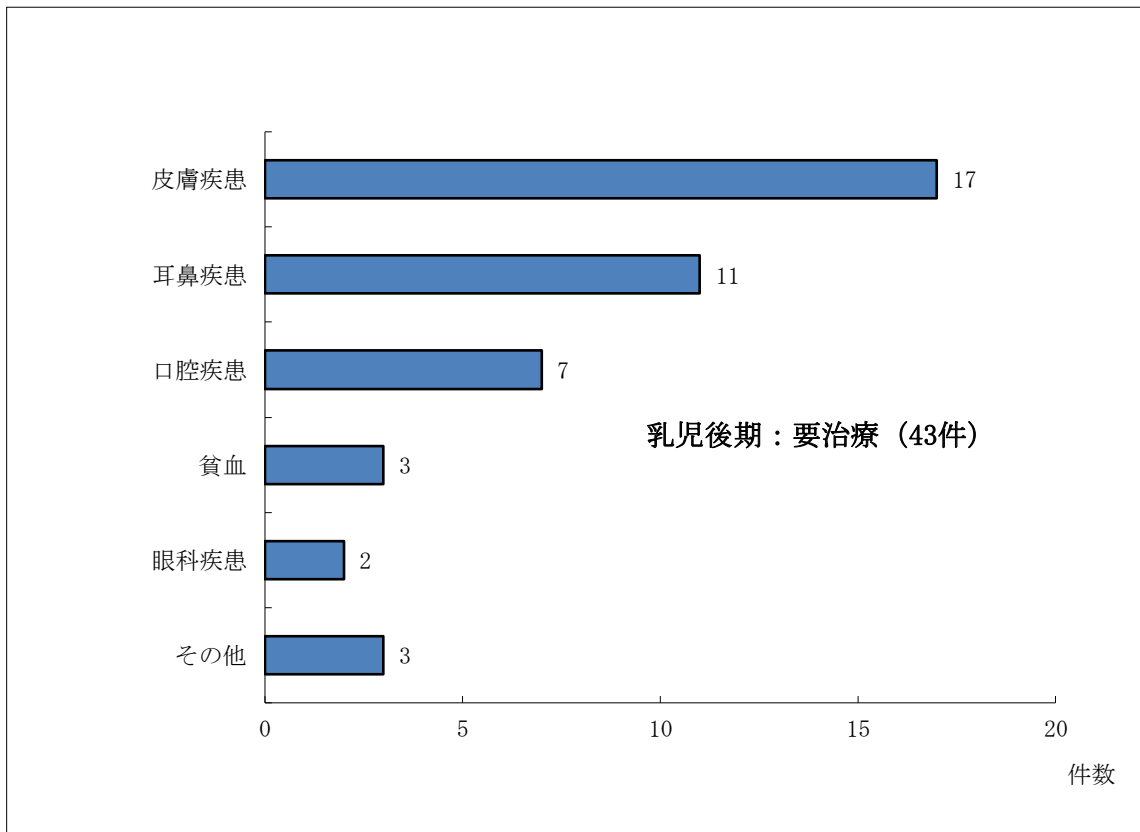
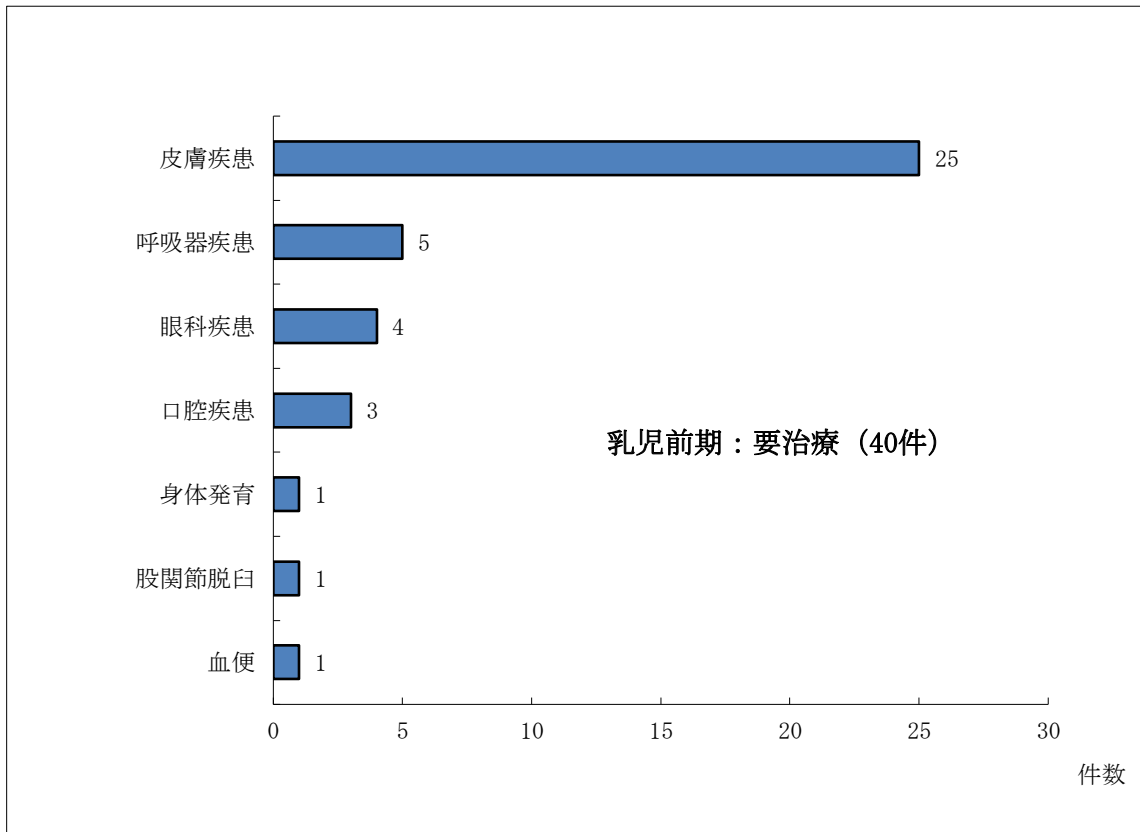
8-2 要経過観察について



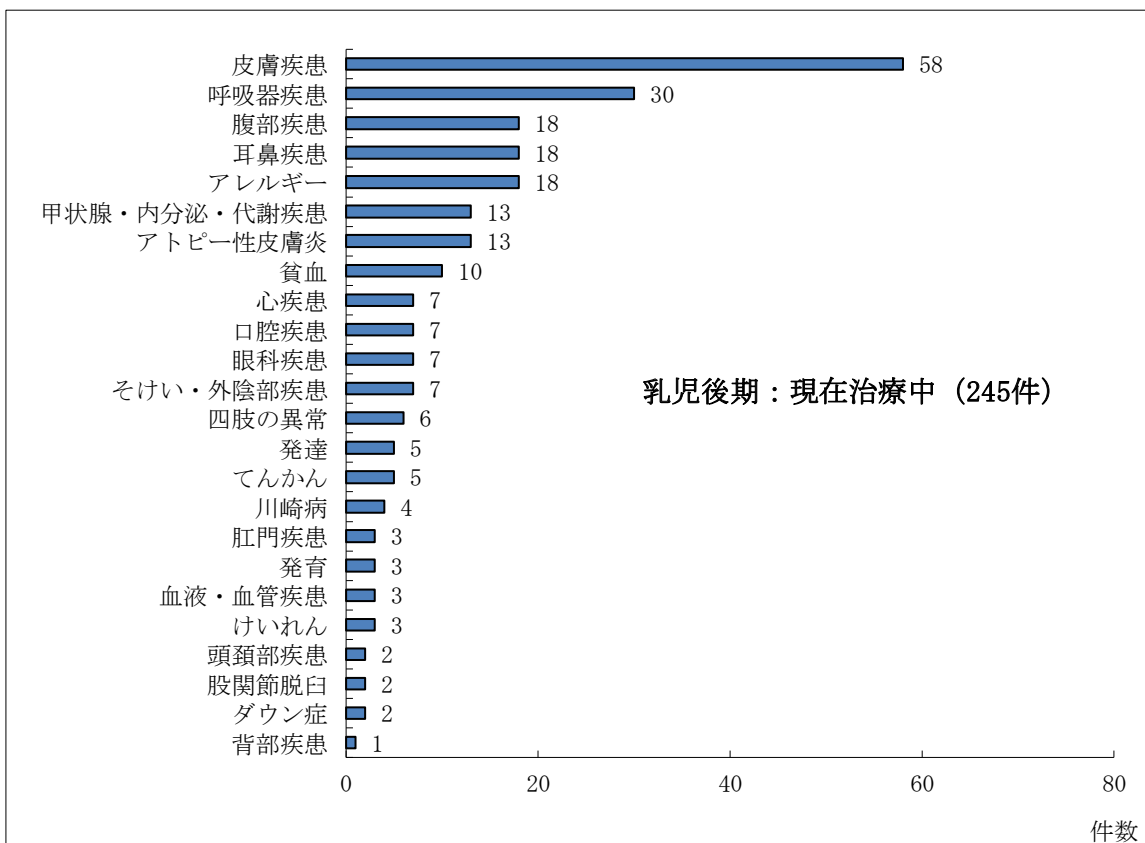
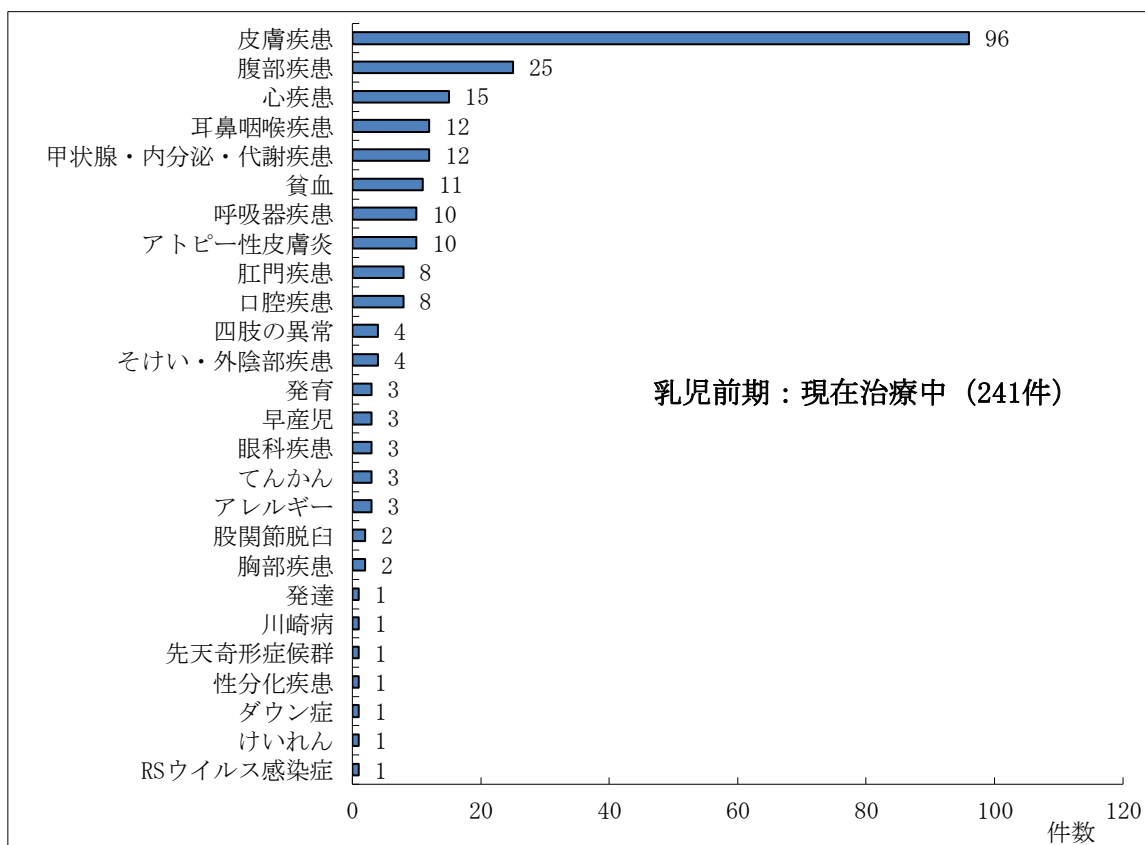
8-3 要精密検査について



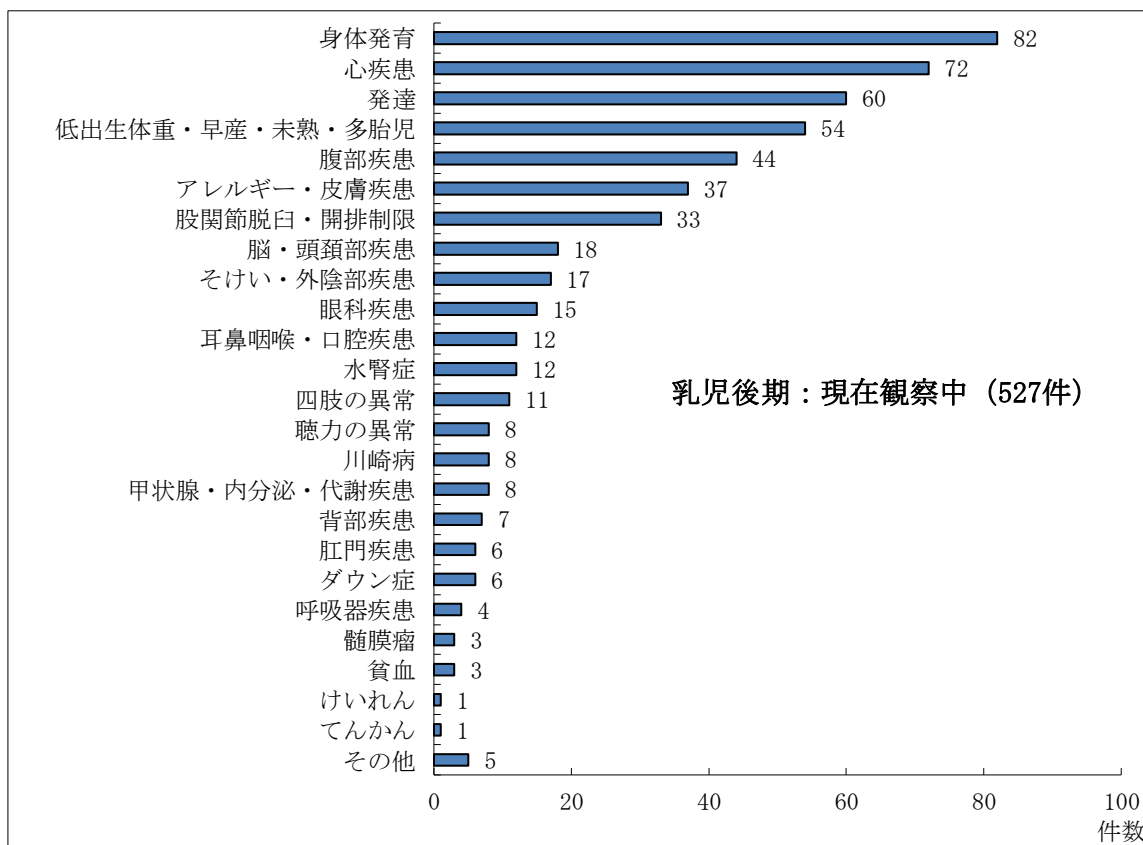
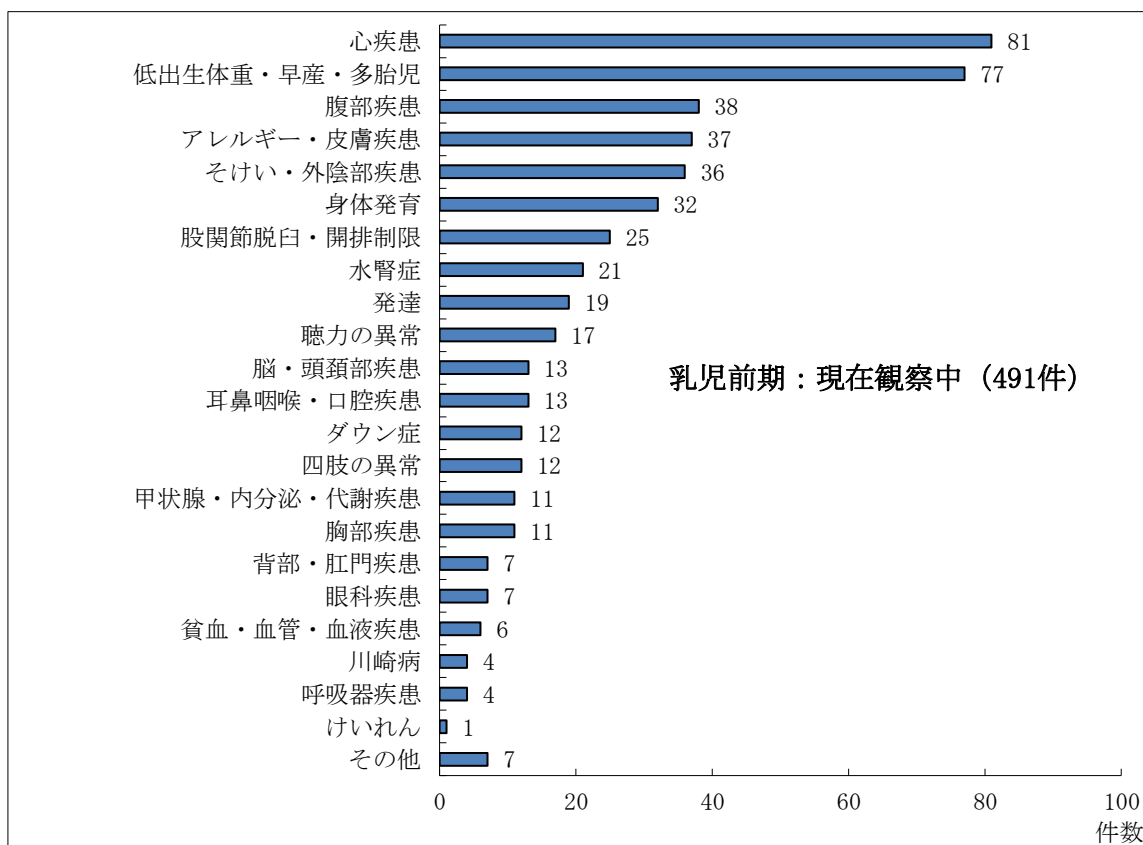
8-4 要治療について



8-5 現在治療中について



8-6 現在観察中について



9 問診・保健相談等の対応

9-1 保健師による問診からの区分

問診からの区分は、問診担当保健師から各専門職へ、該当児等に関し特に配慮して欲しい内容をメッセージとして届けるためのチェック欄である。以下は、その内容項目を示したものである。

	実人員	配慮する項目の分類							
		延べ件数	栄養	家族状況	予防接種	子育て	発達	生活リズム	主訴
実人員	11,852	13,489	1,915	28	252	633	385	154	10,122
実人員に対する割合	%	-	16.2	0.2	2.1	5.3	3.2	1.3	85.4

(参照) 統計資料 No. 13

9-2 保健師による保健相談状況

保健師による保健相談の対応と医師による総合判定状況を示したものである。

保健師による			医師の総合判定（実人員）						
保健相談	受診者数	%	問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
要経観	3,848	13.6	732	416	458	2,014	9	52	167
結果説明	22,735	80.6	19,269	1,988	223	223	60	344	628
記入なし	1,608	5.7	1,263	146	30	100	6	20	43
計	28,191	-	21,264	2,550	711	2,337	75	416	838
%	-	100.0	75.4	9.0	2.5	8.3	0.3	1.5	3.0

(参照) 統計資料 No. 14

9-3 保健師による相談内容

保健師の保健相談で要経過観察とした内容を医師の指示と併せて示したものである。

	実人員	要経過観察内訳									
		延べ件数	栄養	子育て	発達	発育	生活習慣	検査	疾病	その他	不明
保健師	3,848	4,203	441	254	366	559	30	1,598	154	173	628
	%	-	11.5	6.6	9.5	14.5	0.8	41.5	4.0	4.5	16.3
医師	711	817	-	-	224	418	-	7	167	1	-
	%	-	-	-	31.5	58.8	-	1.0	23.5	0.1	-

(参照) 統計資料 No. 3~4、15

10 栄養相談の対応

10-1 栄養士による相談有無と出生順位

栄養士の相談対応有無と児の出生順位について集計したものである。

受診月齢	受診者数	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上		不明	
		相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし
前期	14,138	5,282	210	3,989	569	2,202	452	775	175	295	74	97	18
%	-	96.2	3.8	87.5	12.5	83.0	17.0	81.6	18.4	79.9	20.1	84.3	15.7
後期	14,053	5,366	189	3,915	585	2,173	423	710	167	275	84	146	20
%	-	96.6	3.4	87.0	13.0	83.7	16.3	81.0	19.0	76.6	23.4	88.0	12.0

注) 栄養相談の有無は、受診票に栄養士名の記載有無で判断した。

(参照) 統計資料 No. 16

10-2 栄養士による相談有無とHb値

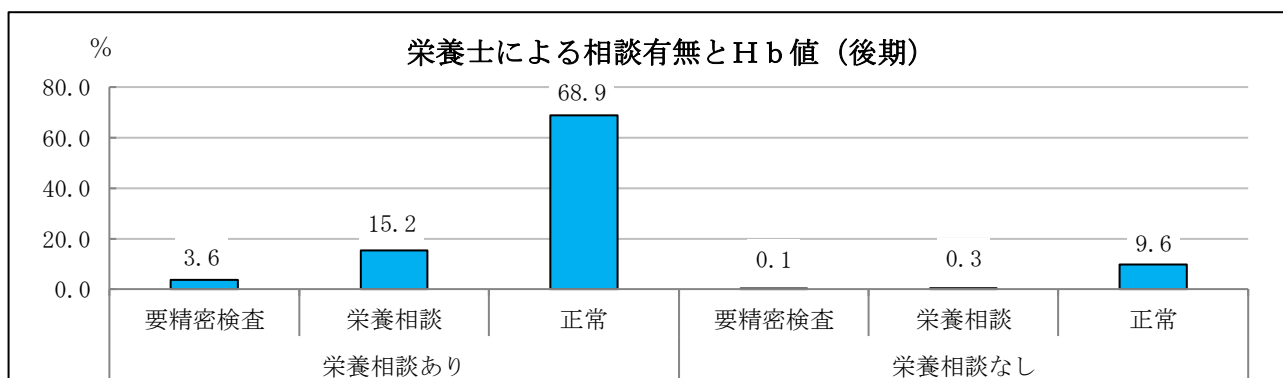
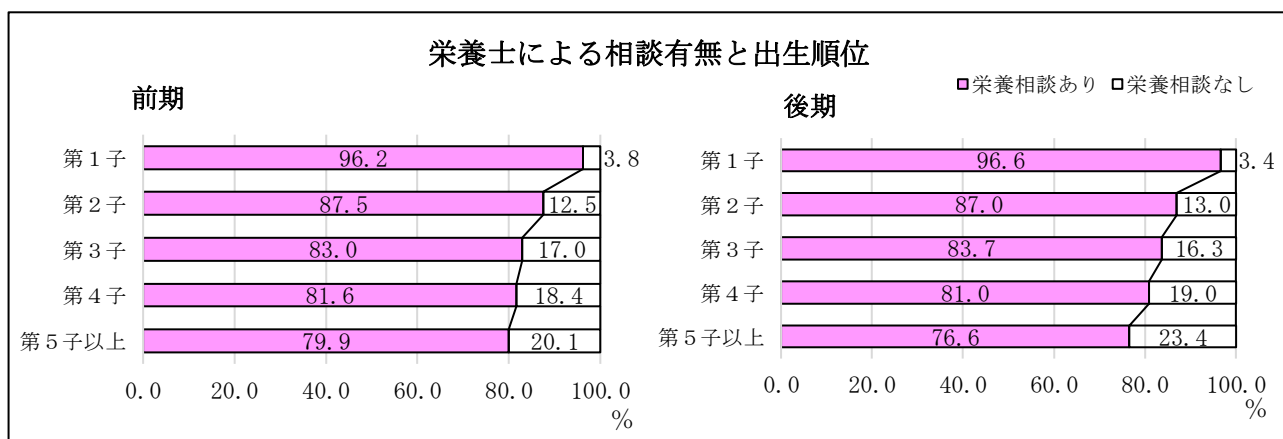
栄養士の相談対応有無と児のHb値について集計したものである。

受診月齢	受診者数	栄養相談あり			栄養相談なし			貧血検査 未検査
		要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	
後期	14,053	505	2,141	9,678	20	48	1,353	308
%	100.0	3.6	15.2	68.9	0.1	0.3	9.6	2.2

注) 栄養相談の有無は、受診票に栄養士名の記載有無で判断した。

注) 平成28年度より貧血検査は後期(7か月~11か月児)のみ実施。

(参照) 統計資料 No. 17

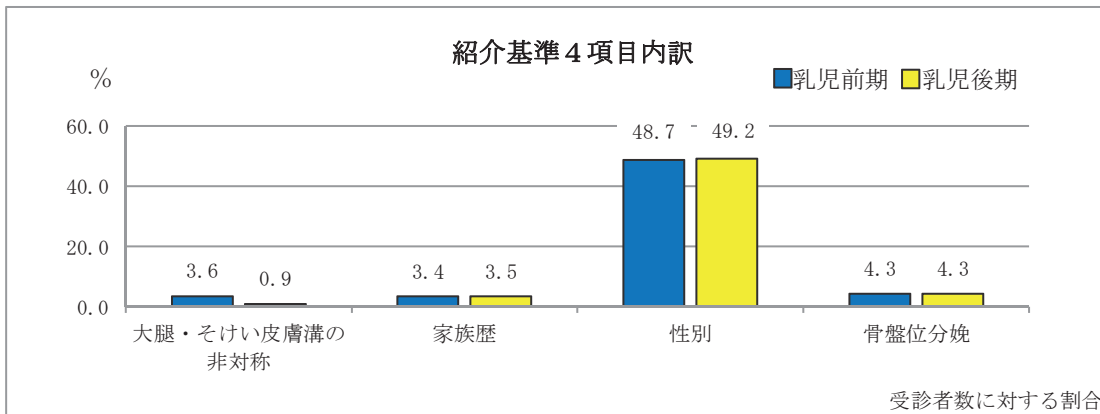
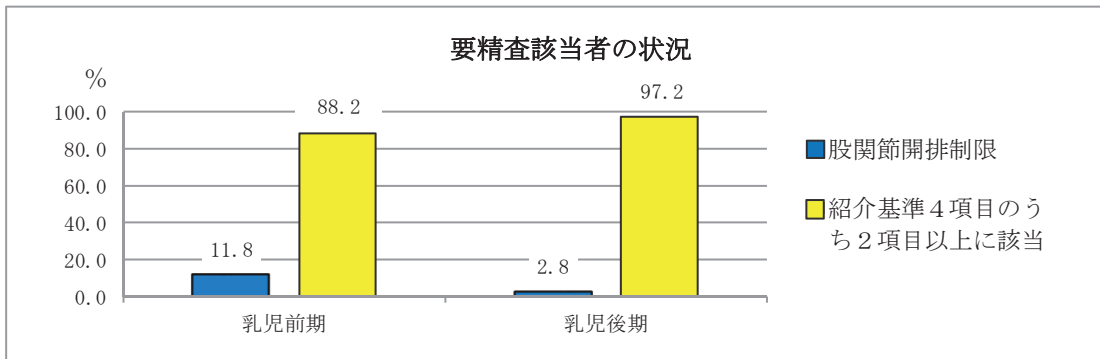


ワンポイント



○乳児の股関節開排制限紹介基準による要精査状況

	受診者数	要精査 該当者数	股関節開排制限					紹介基準 4項目の うち2項目 以上に該当
			開排制限	開排制限 及び 2項目以上 に該当	開排制限 及び 1項目に 該当	不明		
前期	14,138	1,011	119	38	19	59	3	892
	%	100.0	11.8	-	-	-	-	88.2
後期	14,053	686	19	4	2	12	1	667
	%	100.0	2.8	-	-	-	-	97.2



○乳児の股関節開排制限紹介基準による要精査該当者に対する医師の総合判定

	要精査 該当者数	要精査	要経観	治療中	観察中	問題なし
前期	1,011	802	1	1	18	189
%	100.0	79.3	0.1	0.1	1.8	18.7
後期	686	200	-	1	19	466
%	100.0	29.2	-	0.1	2.8	67.9

○乳児の股関節開排制限に係る要精査者の状況

	要精査 該当者数	要精査 (紹介基準で発行)	基準を満たさないが1 項目に該当	その他の 所見
前期	834	802	30	2
%	100.0	96.2	3.6	0.2
後期	217	200	16	1
%	100.0	92.2	7.4	0.5

(参照) 統計資料 No. 9~10